

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
令和5年度業務実績等報告書

令和6年6月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

目

次

1	法人の概要	1
2	報告の実施根拠法	1
3	報告の対象	1
4	報告の趣旨	2
5	評価方法の概要（評価基準）	2
6	自己評価結果	2
	（1）総合的な評定	2
	（2）中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報	3
	（3）年度計画の項目毎の評定	
	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	3
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	4
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	4
	第4 短期借入金の限度額	5
	第5 剰余金の使途	5
	第6 料金に関する事項	5
	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	6
	令和5年度の業務実績に関する評価基準	7
	令和5年度 業務実績 項目別自己評価シート	8

1 法人の概要

- | | | |
|-------------|-----|--|
| (1) 法人名等 | 名 称 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| | 代 表 | 理事長 島 貫 隆 夫 |
| | 住 所 | 山形県酒田市あきほ町 30 番地 |
| (2) 設立年月日 | | 平成 20 年 4 月 1 日 |
| (3) 設立団体 | | 山形県及び酒田市 |
| (4) 資本金の額 | | 196 億 2438 万 9029 円（令和 2 年 3 月 31 日変更） |
| (5) 中期目標の期間 | | 令和 2 年度から令和 5 年度まで（4 年間） |
| (6) 目的及び業務 | | |

ア 目 的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療の提供及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

イ 業 務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

2 報告の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 28 条 第 2 項

3 報告の対象

令和 5 年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

4 報告の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛島診療所（以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。）を運営するにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上及び業務運営の効率化等について自ら評価を行う。

5 評価方法の概要（評価基準）

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和5年度の業務実績に関する評価基準（別紙のとおり）

6 自己評価結果

（1）総合的な評定

ア 概況

日本海総合病院においては、救命救急センターや地域医療支援病院等の指定を受ける地域の中核病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供した。

マイナンバーカードの健康保険証利用及び電子処方箋の利用を促進し、地域の医療安全の向上に努めた。

特に、DPC特定病院群の適用の維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。

日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供した。

日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供した。

さらに、地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットへの参画により、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。

イ 患者動向及び収支について

別添資料のとおり（令和5年度決算の概況について）

ウ 評価した項目数

総項目数 42項目【評価 S：7、A：21、B：14、C：0、D：0】

エ 全体評価

令和5年度計画における業務実績及び業務運営については、計画を上回っているものとして評価する。

(2) 中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総収益（百万円）	23,901	24,873	25,815	25,657
総費用（百万円）	22,609	23,773	24,214	25,067
純利益（百万円）	1,291	1,100	1,602	589
常勤職員数（人）	1,120	1,124	1,114	1,125

(3) 年度計画の項目毎の評定

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 S「年度計画に対する実績は計画を大幅に上回っている。」

イ 理 由

病院及び診療所による医療機能の分担と地域医療連携推進法人内での連携等により、効率的かつ効果的な業務運営を図りながら、地域の医療水準の向上に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 29項目 【評価 S：6、A：14、B：9、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・ 地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を充実させるため、「地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネット」に参画し、地域フォーミュラリ、人事交流、看護管理者間、介護施設間の連携強化等、中心的役割を担った。
- ・ 日本海酒田リハビリテーション病院においては、回復期医療及び慢性期医療を適切に提供し、目標である回復期リハビリテーション実績指数について、目標値を大幅に上回ることができた。
- ・ 中山間地域において身体の状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的とした医療 MaaS (Mobility as a Service) 事業の導入に向け、実証実験や運用の検討、車両整備等を行った。
- ・ 第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者や結核等の診療を積極的に実施した。新型コロナウイルス感染症の5類移行後も入院・外来問わず、診察を継続した。
- ・ 看護師の資質向上のため、認定看護師の新規取得のほか、特定行為、専門看護師研修者を育成し、目標である各種看護

師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数について、目標値を大幅に上回ることができた。

- ・ 連携協力医登録制度の活用等により、かかりつけ医への紹介等連携を図り、紹介率及び逆紹介率の目標値を大幅に上回った。
- ・ マイナンバーカードの健康保険証利用及び電子処方箋の利用を促進し、地域の医療安全の向上に努めた。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

診療体制の強化や、診療報酬改定等の変化に迅速に対応するなど、収益の確保に努めた。

ウ 評価した項目

① 項目数 5項目 【評価 S：0、A：4、B：1、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・ ランサムウェア対策が施されたバックアップシステムを導入し、院内とクラウドサーバ上に複数世代のバックアップ保管、SOC(Security Operation Center)によるセキュリティログの監視と解析を令和5年4月から開始した。令和5年8月にはサイバーセキュリティチェックリストを基に管理運用体制の見直しを行った。
- ・ 新たな施設基準の取得による増収を図った。また、収益の確保を図るため経営戦略会議にて要件の確認及び報告を行い、データ解析を進めた後、運用改善を院内の関係部署と連携しながら実施した。
- ・ 入退院支援センターでの退院時会計を引き続き実施し、入院費を早期に請求することで未収金発生防止に努めた。
- ・ 後発医薬品数量シェア率について、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院ともに目標値を上回ることができた。

第3 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院及び診療所を含む病院機構全体で、経常収支比率と営業収支比率の目標値を上回ることができた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：0、A：1、B：0、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

病院機構全体で、経常収支比率 102.4%、営業収支比率 106.0%と目標値を上回った。(各目標値 100%)

第4 短期借入金の限度額

ア 評 定 S「年度計画に対する実績は計画を大幅に上回っている。」

イ 理 由

短期借入金の実績なし。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：1、A：0、B：0、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

計画的な資金収支に努めたため、短期借入金の必要がなかった。

第5 剰余金の使途

ア 評 定 A「年度計画に対する実績は計画を上回っている。」

イ 理 由

決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：0、A：1、B：0、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

病院施設等の整備に充てるため建設改良積立金に充当した。

第6 料金に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

病院機構の規定に基づき料金徴収を行った。

ウ 評価した項目

① 項目数 1項目 【評価 S：0、A：0、B：1、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収した。

第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

ア 評 定 B「年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。」

イ 理 由

新型コロナウイルス感染症における重点医療機関として診療提供体制等の整備を図った。

ウ 評価した項目

① 項目数 4項目 【評価 S：0、A：1、B：3、C：0、D：0】

② 特筆すべき項目

- ・地域の医療ニーズに対応するため、新型コロナウイルス感染症における重点医療機関として、5類への移行後も県調整本部の要請に基づき、段階的に病床確保を実施した。また、市町村の依頼を受け、新型コロナウイルスワクチン個別接種を実施した。
- ・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。
- ・職員が業務に専念できるよう、院内保育所及び病児・病後児保育事業を継続して実施した。

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和5年度の業務実績に関する評価基準

1 令和5年度業務の実績に関する評価の基本方針

令和5年度計画の業務の実績について自己評価を行う。

2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行う「項目別評価」と業務実績全体の状況について行う「全体評価」の2つを併せて行うものとする。

(1) 項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する。
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する。
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する。

② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する。

(判定基準)

「S」：計画を大幅に上回っている（目標数値110%超）

「A」：計画を上回っている（目標数値100%超110%以下）

「B」：計画に概ね合致している（目標数値90%超100%以下）

「C」：計画をやや下回っている（目標数値60%超90%以下）

「D」：計画を下回っており、大幅な改善が必要（目標数値60%以下）

(2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

令和5年度 業務実績 項目別自己評価シート

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 令和5年度 業務実績評価

評価基準 「S」:計画を大幅に上回っている 「A」:計画を上回っている 「B」:計画に概ね合致している 「C」:計画をやや下回っている 「D」:計画をやや下回っており、大幅な改善が必要

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																							
第1 中期計画の期間																																														
令和2年4月1日から令和6年3月31日までの4年間とする。																																														
第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																																													
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(以下「山形県・酒田市病院機構」という。)は、「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」、「地域に貢献する病院経営」の基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛鳥診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療需要の変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構(以下「山形県・酒田市病院機構」という。)は、「安心、信頼、高度な医療提供」、「保健、医療、福祉の地域連携」、「地域に貢献する病院経営」の基本理念のもと、地域完結型医療の実現を目指し、日本海総合病院及び日本海酒田リハビリテーション病院並びに日本海八幡クリニック、升田診療所、青沢診療所、松山診療所、地見興屋診療所及び飛鳥診療所(以下「日本海八幡クリニック等診療所」という。)の効率的かつ効果的な業務運営に努める。また、今後の医療需要の変化に対応するため、地域の医療機関等との機能分担・連携の推進等において、診療機能や病床規模の適正化等、地域の医療提供体制の見直し等を図る場合は、設立団体と協議しながら適切に行う。新型コロナウイルス感染症においては、先行きが不透明な中、今後の感染状況によっては収支に大きな影響を及ぼす可能性があり、継続的な関係機関の支援等が不可欠な状況にあるが、地域の中核的な医療機関としての機能を確保しながら、地域の医療機関等との連携のもと適切な対応に努める。																																													
1 医療機能の分化・連携の推進																																														
地域の医療機関等との連携を一層推進するため、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画等を通して、地域の中核的な医療機関として積極的に地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に資する役割を担う。		<p>・地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラリ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等の取り組みを通して、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。</p> <p>【実績】日本海ヘルスケアネット内の人事交流(令和5年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>出向元</th> <th>出向先</th> <th>職種</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健友会</td> <td>日本海総合病院</td> <td rowspan="3">医師</td> <td>4名</td> <td>平日診療</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>3名</td> <td>水・土・日の宿日直</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>日本海酒田リハ病院</td> <td>9名</td> <td>木・土の宿日直</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td rowspan="3">看護師</td> <td>3名</td> <td>透析室</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>宏友会</td> <td>3名</td> <td>診療所、老健</td> </tr> <tr> <td>病院機構</td> <td>健友会</td> <td>診療放射線技師</td> <td>1名</td> <td>退職者の応援</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】日本海ヘルスケアネット看護管理者ネットワーク会議(令和5年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>活動テーマ</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「この地域を感染から守る」</td> <td>日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス</td> </tr> <tr> <td>目標:新型コロナウイルス感染症発生時に適切な初期対応ができクラスター発生を防ぐ</td> <td>各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信</td> </tr> <tr> <td>「北庄内地域の食支援の質の向上」</td> <td>誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、口腔ケア方法やOHAT(口腔アセスメントツール)等について、毎月の会議で意見交換を実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】日本海ヘルスケアネット介護ワーキング(令和5年度)</p> <p>介護施設におけるDX推進等の取り組みについてレベルアップを図るべく、共同研修を開催 令和6年2月21日:『介護施設におけるDXの取組みについて』 講師:社会福祉法人正覚会 特別養護老人ホームライフケア黒森 施設長</p> <p>介護人材の確保等を目的に職業ガイダンスを開催 令和6年3月4日:酒田光陵高校 生徒及び保護者対象就職進学希望者ガイダンス</p>	出向元	出向先	職種	人数	備考	健友会	日本海総合病院	医師	4名	平日診療	病院機構	健友会	3名	水・土・日の宿日直	医師会	日本海酒田リハ病院	9名	木・土の宿日直	病院機構	健友会	看護師	3名	透析室	病院機構	宏友会	3名	診療所、老健	病院機構	健友会	診療放射線技師	1名	退職者の応援	活動テーマ	活動内容	「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス	目標:新型コロナウイルス感染症発生時に適切な初期対応ができクラスター発生を防ぐ	各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信	「北庄内地域の食支援の質の向上」	誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、口腔ケア方法やOHAT(口腔アセスメントツール)等について、毎月の会議で意見交換を実施	S		S	S
出向元	出向先	職種	人数	備考																																										
健友会	日本海総合病院	医師	4名	平日診療																																										
病院機構	健友会		3名	水・土・日の宿日直																																										
医師会	日本海酒田リハ病院		9名	木・土の宿日直																																										
病院機構	健友会	看護師	3名	透析室																																										
病院機構	宏友会		3名	診療所、老健																																										
病院機構	健友会		診療放射線技師	1名	退職者の応援																																									
活動テーマ	活動内容																																													
「この地域を感染から守る」	日本海総合病院感染管理認定看護師による感染症対策マニュアルとゾーニングへのアドバイス																																													
目標:新型コロナウイルス感染症発生時に適切な初期対応ができクラスター発生を防ぐ	各施設の対応やマニュアル改定に活用できるよう、感染防止対策に関する最新情報(新型コロナウイルス感染症、VRE)を毎月の会議で発信																																													
「北庄内地域の食支援の質の向上」	誤嚥性肺炎予防のための知識・技術を習得するべく、口腔ケア方法やOHAT(口腔アセスメントツール)等について、毎月の会議で意見交換を実施																																													

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																						
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																					
2 持続的・安定的な医療の提供及び医療水準の向上																																												
(1) 高度専門医療・回復期医療等の充実・強化																																												
<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。</p> <p>入退院支援センターの活用や診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。</p> <p>◆日本海総合病院(令和2年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>病床稼働率</td><td>毎年度76%以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	病床稼働率	毎年度76%以上	<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術や放射線治療の充実など、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組む。</p> <p>入退院支援センターの活用や診療情報の共有化などにより、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図り、地域完結型の医療の実現を目指す。</p> <p>◆日本海総合病院(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>病床稼働率</td><td>76%以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	病床稼働率	76%以上	<p>① 日本海総合病院は、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、ハイブリッド手術室の手術件数が137件、ロボット支援手術の件数が148件、放射線治療件数が6,119件と高度専門医療の充実を図るとともに、併せてDPC特定病院群の適用維持による医療の質の向上を図り、急性期医療及び高度専門医療の適切な提供に取り組んだ。</p> <p>入退院支援センターの活用や、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の活用による診療情報の共有化等により、地域の他の医療機関や介護施設と連携し、入院から退院後の在宅や介護施設への移行の円滑化を図った。</p> <p>◆日本海総合病院(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。</p> <p>・目標とする病床稼働率の目標値については、上回る事ができた。</p> <p>【実績】病床稼働率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> <tr><td>73.7%</td><td>×</td><td>76.8%</td><td>○</td><td>76.8%</td><td>○</td><td>78.6%</td><td>○</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床	診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	73.7%	×	76.8%	○	76.8%	○	78.6%	○	A		A	A
項目	概要																																											
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																											
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																											
目標とする指標	目標値																																											
病床稼働率	毎年度76%以上																																											
項目	概要																																											
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																											
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																											
目標とする指標	目標値																																											
病床稼働率	76%以上																																											
項目	概要																																											
許可病床数	一般病床 626床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 630床																																											
診療機能等	・救命救急センター(ICU、HCU) ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院 ・へき地医療拠点病院 ・認知症疾患医療センター ・臨床研修病院 など																																											
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																									
73.7%	×	76.8%	○	76.8%	○	78.6%	○																																					
<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和2年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。</p> <p>【目標】日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>毎年度40点以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上	<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担う。回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行う。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。</p> <p>【目標】日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr><th>目標とする指標</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>回復期リハビリテーション実績指数</td><td>40点以上</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	目標とする指標	目標値	回復期リハビリテーション実績指数	40点以上	<p>② 日本海酒田リハビリテーション病院は、回復期医療と慢性期医療を担い、回復期医療では、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供し、慢性期医療では、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受入れを行った。</p> <p>◆日本海酒田リハビリテーション病院(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>許可病床数</td><td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など</td></tr> </table> <p>※許可病床数については、病床規模の適正化等により変更する場合がある。</p> <p>・目標とする回復期リハビリテーション実績指数の目標値については、大幅に上回る事ができた。</p> <p>【実績】回復期リハビリテーション実績指数(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> <tr><td>47.5点</td><td>○</td><td>46.7点</td><td>○</td><td>46.4点</td><td>○</td><td>46.2点</td><td>○</td></tr> </table>	項目	概要	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	47.5点	○	46.7点	○	46.4点	○	46.2点	○	S		S	S
項目	概要																																											
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																											
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																											
目標とする指標	目標値																																											
回復期リハビリテーション実績指数	毎年度40点以上																																											
項目	概要																																											
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																											
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																											
目標とする指標	目標値																																											
回復期リハビリテーション実績指数	40点以上																																											
項目	概要																																											
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																																											
診療機能等	・回復期リハビリテーション ・通所、訪問リハビリテーション ・在宅重症難病患者一時入院機能 ・臨床研修病院 など																																											
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																									
47.5点	○	46.7点	○	46.4点	○	46.2点	○																																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定			前年度計画 法人における自己評価																																																																																																																																																									
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	前年度計画の類似項目の評定																																																																																																																																																										
<p>③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供する。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和2年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和2年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和2年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項目	概要	標榜科	内科	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	<p>③ 日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供する。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供する。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	項目	概要	標榜科	内科	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	<p>・日本海八幡クリニック等診療所は、それぞれの地域における唯一の医療機関として一次医療の提供及び地域住民への訪問看護等を提供した。また、地域の医療需要を考慮した体制でへき地医療を提供した。</p> <p>・日本海八幡クリニックでは、火・水・木・金曜日延長診療、土曜診療及び訪問診療の実施並びに訪問看護ステーションの運営を行った。また、松山診療所では、4月～9月は月・水・木曜日、10月～3月は月・水・金曜日とし、週3日間診療を行った。</p> <p>・飛鳥診療所では、日本海総合病院の医師による出張診療や遠隔診療を行うことで、必要な医療が確保されるよう努めた。</p> <p>◆日本海八幡クリニック(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科、整形外科、リハビリテーション科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)</td></tr> </table> <p>【実績】日本海八幡クリニック</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>延外来患者数</td><td>15,876名</td><td>16,355名</td><td>16,315名</td><td>15,026名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>54.2名</td><td>55.6名</td><td>56.1名</td><td>50.5名</td></tr> </tbody> </table> <p>【実績】訪問看護ステーションやわた</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>延利用者数</td><td>3,525名</td><td>3,193名</td><td>3,501名</td><td>3,817名</td></tr> <tr><td>1日平均利用者数</td><td>11.4名</td><td>9.4名</td><td>10.1名</td><td>10.8名</td></tr> </tbody> </table> <p>◆升田診療所、青沢診療所(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科</td></tr> </table> <p>【実績】升田診療所</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>延外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>※令和2～5年度受診希望者なし</p> <p>【実績】青沢診療所</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>延外来患者数</td><td>51名</td><td>62名</td><td>69名</td><td>55名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.3名</td><td>5.2名</td><td>5.8名</td><td>5.5名</td></tr> </tbody> </table> <p>◆松山診療所、地見興屋診療所、飛鳥診療所(令和5年4月1日現在)</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>概要</th></tr> <tr><td>標榜科</td><td>内科、外科</td></tr> <tr><td>診療機能等</td><td>松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療</td></tr> </table> <p>【実績】松山診療所</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>延外来患者数</td><td>3,504名</td><td>3,456名</td><td>2,929名</td><td>2,739名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>17.1名</td><td>14.6名</td><td>18.5名</td><td>25.3名</td></tr> </tbody> </table> <p>【実績】地見興屋診療所</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>延外来患者数</td><td>153名</td><td>111名</td><td>88名</td><td>95名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>4.0名</td><td>2.9名</td><td>4.4名</td><td>6.3名</td></tr> </tbody> </table> <p>【実績】飛鳥診療所</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区分</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>延外来患者数</td><td>518名</td><td>458名</td><td>422名</td><td>401名</td></tr> <tr><td>1日平均外来患者数</td><td>3.4名</td><td>2.6名</td><td>2.7名</td><td>2.7名</td></tr> </tbody> </table>	項目	概要	標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科	診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延外来患者数	15,876名	16,355名	16,315名	15,026名	1日平均外来患者数	54.2名	55.6名	56.1名	50.5名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延利用者数	3,525名	3,193名	3,501名	3,817名	1日平均利用者数	11.4名	9.4名	10.1名	10.8名	項目	概要	標榜科	内科	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延外来患者数	—	—	—	—	1日平均外来患者数	—	—	—	—	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延外来患者数	51名	62名	69名	55名	1日平均外来患者数	4.3名	5.2名	5.8名	5.5名	項目	概要	標榜科	内科、外科	診療機能等	松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延外来患者数	3,504名	3,456名	2,929名	2,739名	1日平均外来患者数	17.1名	14.6名	18.5名	25.3名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延外来患者数	153名	111名	88名	95名	1日平均外来患者数	4.0名	2.9名	4.4名	6.3名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	延外来患者数	518名	458名	422名	401名	1日平均外来患者数	3.4名	2.6名	2.7名	2.7名	B			B	B
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																																															
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																																															
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科																																																																																																																																																															
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科、外科																																																																																																																																																															
診療機能等	松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																																															
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																																															
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																																															
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科																																																																																																																																																															
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科、外科																																																																																																																																																															
診療機能等	松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																																															
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科																																																																																																																																																															
診療機能等	・運動器・呼吸器・脳血管疾患等リハビリテーション ・訪問診療、訪問看護(介護保険事業を含む)																																																																																																																																																															
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																												
延外来患者数	15,876名	16,355名	16,315名	15,026名																																																																																																																																																												
1日平均外来患者数	54.2名	55.6名	56.1名	50.5名																																																																																																																																																												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																												
延利用者数	3,525名	3,193名	3,501名	3,817名																																																																																																																																																												
1日平均利用者数	11.4名	9.4名	10.1名	10.8名																																																																																																																																																												
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科																																																																																																																																																															
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																												
延外来患者数	—	—	—	—																																																																																																																																																												
1日平均外来患者数	—	—	—	—																																																																																																																																																												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																												
延外来患者数	51名	62名	69名	55名																																																																																																																																																												
1日平均外来患者数	4.3名	5.2名	5.8名	5.5名																																																																																																																																																												
項目	概要																																																																																																																																																															
標榜科	内科、外科																																																																																																																																																															
診療機能等	松山診療所: 訪問診療、飛鳥診療所の遠隔診療																																																																																																																																																															
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																												
延外来患者数	3,504名	3,456名	2,929名	2,739名																																																																																																																																																												
1日平均外来患者数	17.1名	14.6名	18.5名	25.3名																																																																																																																																																												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																												
延外来患者数	153名	111名	88名	95名																																																																																																																																																												
1日平均外来患者数	4.0名	2.9名	4.4名	6.3名																																																																																																																																																												
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																												
延外来患者数	518名	458名	422名	401名																																																																																																																																																												
1日平均外来患者数	3.4名	2.6名	2.7名	2.7名																																																																																																																																																												

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																																																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類 似項目の評定																																																																															
ア 診療体制の充実																																																																																						
(ア)救急医療																																																																																						
庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持する。	庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される救急医療の提供に努め、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携を図り、夜間救急の診療体制を維持する。	<p>・庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、地域に信頼される医療の提供に努めた。また、救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、高度な処置が必要となる重篤な患者に対する三次救急診療を日本海総合病院の医師が担い、夜間救急外来での一次救急診療については、一般社団法人酒田地区医師会十全堂所属の医師が担当し、夜間救急の診療体制を維持した。</p> <p>【実績】救命救急センター延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,141名</td> <td>19,861名</td> <td>19,662名</td> <td>20,500名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>23名</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>198名</td> <td>131名</td> <td>98名</td> <td>89名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年10月から小児夜間診療休止</p> <p>【実績】救急車の搬送数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒田地区 医療機関への搬送数 計</td> <td>4,825名</td> <td>5,106名</td> <td>5,418名</td> <td>6,001名</td> </tr> <tr> <td>うち日本海総合病院への搬送数</td> <td>2,852名</td> <td>3,133名</td> <td>3,645名</td> <td>3,927名</td> </tr> <tr> <td>鶴岡地区 医療機関への搬送数 計</td> <td>4,907名</td> <td>5,161名</td> <td>5,334名</td> <td>5,701名</td> </tr> <tr> <td>うち日本海総合病院への搬送数</td> <td>361名</td> <td>337名</td> <td>314名</td> <td>460名</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>庄内地域での日本海総合病院の割合</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>33.0%</td> <td>33.8%</td> <td>36.8%</td> <td>37.5%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>救急搬送受入要請の応需率</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	17,141名	19,861名	19,662名	20,500名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	小児科	23名	—	—	—	その他	198名	131名	98名	89名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	酒田地区 医療機関への搬送数 計	4,825名	5,106名	5,418名	6,001名	うち日本海総合病院への搬送数	2,852名	3,133名	3,645名	3,927名	鶴岡地区 医療機関への搬送数 計	4,907名	5,161名	5,334名	5,701名	うち日本海総合病院への搬送数	361名	337名	314名	460名	庄内地域での日本海総合病院の割合	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		33.0%	33.8%	36.8%	37.5%	救急搬送受入要請の応需率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		100%	100%	100%	100%	A			A	A											
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																			
17,141名	19,861名	19,662名	20,500名																																																																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																		
小児科	23名	—	—	—																																																																																		
その他	198名	131名	98名	89名																																																																																		
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																		
酒田地区 医療機関への搬送数 計	4,825名	5,106名	5,418名	6,001名																																																																																		
うち日本海総合病院への搬送数	2,852名	3,133名	3,645名	3,927名																																																																																		
鶴岡地区 医療機関への搬送数 計	4,907名	5,161名	5,334名	5,701名																																																																																		
うち日本海総合病院への搬送数	361名	337名	314名	460名																																																																																		
庄内地域での日本海総合病院の割合	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																		
	33.0%	33.8%	36.8%	37.5%																																																																																		
救急搬送受入要請の応需率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																		
	100%	100%	100%	100%																																																																																		
(イ)がん医療																																																																																						
患者の状態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせ集学的治療を提供する。また、緩和ケアセンターを中心とした体制の下、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。さらに、がん対策の進展に貢献するため、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。	<p>① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせ集学的治療を提供する。また、より適切ながん医療を提供するため、がんセンターボードを定期的に開催する。</p> <p>② 緩和ケアセンターを中心に、早期に適切な緩和ケアの提供に努める。</p>	<p>・地域がん診療連携拠点病院として、手術や放射線療法、化学療法等の集学的治療を継続して行った。</p> <p>・放射線療法においては、より適切で効果的ながん医療の提供により、強度変調放射線治療(IMRT)といった高度な治療の件数が増加した。</p> <p>・外来での化学療法治療の質の向上に努め、患者の状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の保険薬局の薬剤師等を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備した。</p> <p>【実績】手術、放射線療法、外来化学療法件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術</td> <td>1,149件</td> <td>1,167件</td> <td>1,156件</td> <td>1,220件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法</td> <td>5,978件</td> <td>6,577件</td> <td>6,582件</td> <td>6,119件</td> </tr> <tr> <td>(実件数)</td> <td>(241件)</td> <td>(240件)</td> <td>(184件)</td> <td>(176件)</td> </tr> <tr> <td>うちIMRT</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,639件</td> <td>2,825件</td> </tr> <tr> <td>(実件数)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(73件)</td> <td>(86件)</td> </tr> <tr> <td>うちSRT</td> <td>40件</td> <td>30件</td> <td>27件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td>(実件数)</td> <td>(10件)</td> <td>(9件)</td> <td>(9件)</td> <td>(8件)</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>7,114件</td> <td>7,730件</td> <td>7,503件</td> <td>8,141件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がんセンターボードを定期的に開催するとともに、山形大学医学部附属病院から腫瘍内科の医師の招集と多職種による検討を行い、より適切で効果的ながん医療の提供に努めた。</p> <p>【実績】がんセンターボード実績(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>26回</td> <td>26回</td> <td>37回</td> <td>34回</td> </tr> <tr> <td>症例数</td> <td>69症例</td> <td>163症例</td> <td>141症例</td> <td>152症例</td> </tr> </tbody> </table> <p>・適切な緩和ケアの早期提供のため、緩和ケアスクリーニングを行い、緩和ケア医療の充実に努めた。</p> <p>【実績】緩和ケアスクリーニング実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>3,934件</td> <td>4,300件</td> <td>4,368件</td> <td>4,297件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>465件</td> <td>671件</td> <td>658件</td> <td>633件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医師及び多職種に対する緩和ケア研修会を開催し、緩和ケア医療提供の体制強化に努めた。</p> <p>【実績】がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>受講済み医師数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年11月11日</td> <td>101名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	手術	1,149件	1,167件	1,156件	1,220件	放射線療法	5,978件	6,577件	6,582件	6,119件	(実件数)	(241件)	(240件)	(184件)	(176件)	うちIMRT	—	—	2,639件	2,825件	(実件数)	—	—	(73件)	(86件)	うちSRT	40件	30件	27件	28件	(実件数)	(10件)	(9件)	(9件)	(8件)	外来化学療法	7,114件	7,730件	7,503件	8,141件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	回数	26回	26回	37回	34回	症例数	69症例	163症例	141症例	152症例	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	入院	3,934件	4,300件	4,368件	4,297件	外来	465件	671件	658件	633件	実施日	受講済み医師数	令和5年11月11日	101名	A			A	A
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																		
手術	1,149件	1,167件	1,156件	1,220件																																																																																		
放射線療法	5,978件	6,577件	6,582件	6,119件																																																																																		
(実件数)	(241件)	(240件)	(184件)	(176件)																																																																																		
うちIMRT	—	—	2,639件	2,825件																																																																																		
(実件数)	—	—	(73件)	(86件)																																																																																		
うちSRT	40件	30件	27件	28件																																																																																		
(実件数)	(10件)	(9件)	(9件)	(8件)																																																																																		
外来化学療法	7,114件	7,730件	7,503件	8,141件																																																																																		
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																		
回数	26回	26回	37回	34回																																																																																		
症例数	69症例	163症例	141症例	152症例																																																																																		
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																		
入院	3,934件	4,300件	4,368件	4,297件																																																																																		
外来	465件	671件	658件	633件																																																																																		
実施日	受講済み医師数																																																																																					
令和5年11月11日	101名																																																																																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価		前年度計画 法人における自己評価																																																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																																																									
	③ がん対策の進展に貢献するよう、院内がん登録及び全国がん登録を実施する。	<p>・がん対策の進展に貢献するよう、中級認定者を専従として1名配置し、院内がん登録及び全国がん登録を実施した。</p> <p>【実績】がん登録件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象年</td> <td>2019年症例</td> <td>2020年症例</td> <td>2021年症例</td> <td>2022年症例</td> </tr> <tr> <td>院内がん登録</td> <td>1,874件</td> <td>1,881件</td> <td>1,961件</td> <td>1,954件</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>1,885件</td> <td>1,891件</td> <td>1,969件</td> <td>1,964件</td> </tr> <tr> <td>庄内地域での日本海総合病院の割合※</td> <td>69.0%</td> <td>72.2%</td> <td>67.0%</td> <td>68.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国立がん研究センター院内がん登録全国集計から算出</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対象年	2019年症例	2020年症例	2021年症例	2022年症例	院内がん登録	1,874件	1,881件	1,961件	1,954件	全国がん登録	1,885件	1,891件	1,969件	1,964件	庄内地域での日本海総合病院の割合※	69.0%	72.2%	67.0%	68.0%																																																			
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																										
対象年	2019年症例	2020年症例	2021年症例	2022年症例																																																																										
院内がん登録	1,874件	1,881件	1,961件	1,954件																																																																										
全国がん登録	1,885件	1,891件	1,969件	1,964件																																																																										
庄内地域での日本海総合病院の割合※	69.0%	72.2%	67.0%	68.0%																																																																										
(ウ)脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患																																																																														
① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	① 急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努める。	<p>・急性期医療において内科的・外科的治療を速やかに行い、機能回復のためのリハビリテーションの早期開始に努めた。また、継続して休日のリハビリテーションを提供した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>733名</td> <td>43,815回</td> <td>763名</td> <td>45,582回</td> <td>851名</td> <td>48,047回</td> <td>821名</td> <td>45,537回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>689名</td> <td>14,400回</td> <td>639名</td> <td>10,849回</td> <td>638名</td> <td>9,731回</td> <td>652名</td> <td>8,944回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】休日のリハビリテーション実施状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> <th>実患者数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管</td> <td>630名</td> <td>5,650回</td> <td>695名</td> <td>5,660回</td> <td>612名</td> <td>2,706回</td> <td>661名</td> <td>3,956回</td> </tr> <tr> <td>心大血管</td> <td>500名</td> <td>1,578回</td> <td>440名</td> <td>1,213回</td> <td>395名</td> <td>757回</td> <td>400名</td> <td>956回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	733名	43,815回	763名	45,582回	851名	48,047回	821名	45,537回	心大血管	689名	14,400回	639名	10,849回	638名	9,731回	652名	8,944回	区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	脳血管	630名	5,650回	695名	5,660回	612名	2,706回	661名	3,956回	心大血管	500名	1,578回	440名	1,213回	395名	757回	400名	956回	A		B	B		
区分	令和2年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度																																																																						
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																						
脳血管	733名	43,815回	763名	45,582回	851名	48,047回	821名	45,537回																																																																						
心大血管	689名	14,400回	639名	10,849回	638名	9,731回	652名	8,944回																																																																						
区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度																																																																							
	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数	実患者数	回数																																																																						
脳血管	630名	5,650回	695名	5,660回	612名	2,706回	661名	3,956回																																																																						
心大血管	500名	1,578回	440名	1,213回	395名	757回	400名	956回																																																																						
② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整える。	② 脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制に努める。	<p>・脳梗塞の血栓回収療法等、脳卒中に対する適切な急性期医療の提供体制を整え、医師・看護師・コメディカルスタッフと連携し、適切かつ速やかな治療を提供した。</p> <p>【実績】血栓回収療法、t-PA実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血栓回収療法</td> <td>2件</td> <td>5件</td> <td>4件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>t-PA</td> <td>16件</td> <td>26件</td> <td>18件</td> <td>24件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	血栓回収療法	2件	5件	4件	11件	t-PA	16件	26件	18件	24件																																																													
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																										
血栓回収療法	2件	5件	4件	11件																																																																										
t-PA	16件	26件	18件	24件																																																																										
③ 酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	③ 酒田地区広域行政組合消防本部との連携により、12誘導心電図伝送装置を活用するなど、心筋梗塞等の早期診断に努める。	<p>・酒田及び鶴岡地区管内全ての救急隊に配備されている12誘導心電図伝送システムを活用し、重篤患者の治療を行った。</p> <p>【実績】12誘導心電図伝送件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>271件</td> <td>348件</td> <td>357件</td> <td>469件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※酒田地区:平成31年2月から運用開始 ※鶴岡地区:令和2年12月から運用開始</p> <p>・急性心筋梗塞の救急搬送患者に対して、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療を実施した。また、病院に到着する前に院内放送で心筋梗塞チームを参集し、救急搬送直後から治療にとりかかるシステムを構築し、運用した。</p> <p>【実績】経皮的冠動脈形成術及び経皮的冠動脈ステント留置術件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞に対するもの</td> <td>43件</td> <td>42件</td> <td>44件</td> <td>64件</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	271件	348件	357件	469件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	急性心筋梗塞に対するもの	43件	42件	44件	64件																																																										
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																											
271件	348件	357件	469件																																																																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																										
急性心筋梗塞に対するもの	43件	42件	44件	64件																																																																										
(エ)糖尿病																																																																														
医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。	医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。	<p>・医師・看護師・管理栄養士等が協働し、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室及び糖尿病透析予防の患者教育・指導を継続して行った。</p> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>13回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>23名</td> <td>28名</td> <td>34名</td> <td>6名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者数</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>3名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>指導回数</td> <td>29回</td> <td>25回</td> <td>10回</td> <td>42回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】教育入院患者数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>69名</td> <td>119名</td> <td>239名</td> <td>217名</td> <td>156名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】個別栄養指導件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>335件</td> <td>482件</td> <td>443件</td> <td>360件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>223件</td> <td>220件</td> <td>219件</td> <td>194件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>558件</td> <td>702件</td> <td>662件</td> <td>554件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標とする糖尿病教室の開催回数については、目標値を下回ったが、糖尿病透析予防の指導回数については増加した。</p> <p>【実績】糖尿病教室(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回</td> <td>×</td> <td>10回</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>13回</td> <td>×</td> <td>3回</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	開催回数	10回	10回	13回	3回	参加人数	23名	28名	34名	6名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実患者数	6名	5名	3名	11名	指導回数	29回	25回	10回	42回	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	69名	119名	239名	217名	156名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	入院	335件	482件	443件	360件	外来	223件	220件	219件	194件	合計	558件	702件	662件	554件	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	10回	×	10回	×	13回	×	3回	×	B		B	B
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																										
開催回数	10回	10回	13回	3回																																																																										
参加人数	23名	28名	34名	6名																																																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																										
実患者数	6名	5名	3名	11名																																																																										
指導回数	29回	25回	10回	42回																																																																										
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																										
69名	119名	239名	217名	156名																																																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																										
入院	335件	482件	443件	360件																																																																										
外来	223件	220件	219件	194件																																																																										
合計	558件	702件	662件	554件																																																																										
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																											
10回	×	10回	×																																																																											
13回	×	3回	×																																																																											
【目標】日本海総合病院	【目標】日本海総合病院																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>毎年度15回以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	糖尿病教室	毎年度15回以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>15回以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	糖尿病教室	15回以上																																																																					
目標とする指標	目標値																																																																													
糖尿病教室	毎年度15回以上																																																																													
目標とする指標	目標値																																																																													
糖尿病教室	15回以上																																																																													

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	
(オ) 精神疾患						
地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき精神医療を提供する。	地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療など総合病院として担うべき精神医療を提供する。	・地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図りながら、身体合併症患者への診療等、総合病院として担うべき医療を提供した。 【実績】他の精神科病院から日本海総合病院に紹介等され入院した患者数 令和2年度 45名 令和3年度 51名 令和4年度 64名 令和5年度 84名	B			B
(カ) 小児・周産期医療						
① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う。	① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受入れを行う	・二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応等、周産期に係る高度な産科医療を提供した。 【実績】母体・新生児救急搬送患者数等状況(日本海総合病院) 区分 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 母体 10名 17名 10名 15名 新生児 6名 10名 2名 2名 緊急帝王切開術 38件 33件 56件 46件	A			A
② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。	② 地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。	・産婦人科専門医5名及び小児科専門医4名の体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供した。 ・三次周産期医療機関である山形大学医学部附属病院及び山形県立中央病院、鶴岡市立荘内病院との連携を図り、救急搬送を適切に行った。 【実績】母体・新生児の救急搬送患者数(日本海総合病院) 区分 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 母体 12名 7名 12名 6名 新生児 2名 0名 2名 2名				
(キ) 回復期リハビリテーション						
脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。	・脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADL(日常生活動作)を改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供した。 【実績】疾患別リハビリテーション実施状況(日本海酒田リハビリテーション病院) 区分 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 実患者数 回数 実患者数 回数 実患者数 回数 実患者数 回数 脳血管リハ 236名 87,764回 237名 86,837回 245名 83,159回 229名 88,298回 運動器リハ 200名 54,944回 221名 57,168回 206名 57,561回 200名 59,931回	A			A
(ク) 在宅医療支援及び療養支援						
① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。	・入退院支援センターにおいて、入院前から退院困難になる要因のスクリーニングを実施し、早期に支援を実施することで安心して入院できるよう環境づくりに努めた。 ・退院支援においては、入退院支援センター退院支援看護師、医療・福祉センターの社会福祉士が共同し、切れ目なくサービスが受けられるよう、地域の介護・福祉・医療機関等との連携を行った。 ・退院困難の事例においては、多職種によるカンファレンスを行い、患者が住み慣れた地域での暮らし、患者・家族等が望む退院先を自己決定できるように支援を行った。 【実績】入院前スクリーニング実施件数(日本海総合病院) 令和2年度 6,317名 令和3年度 5,752名 令和4年度 5,525名 令和5年度 6,031名 【実績】退院調整件数(日本海総合病院) 区分 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 他病院 925件 927件 994件 1,107件 在宅 12,426件 12,862件 12,351件 12,637件 介護老人保健施設 95件 134件 142件 93件 介護老人福祉施設 131件 106件 100件 162件 ショートステイ 91件 120件 135件 122件 有料老人ホーム 216件 261件 260件 192件 その他 110件 68件 50件 66件 合計 13,994件 14,478件 14,032件 14,379件	A			A
② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施する。また、在宅医療を行っている診療所等で、入院治療が必要となった患者の受入れなどの支援を行う。	② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、通所及び訪問リハビリテーションを実施する。また、在宅医療を行っている診療所等で、入院治療が必要となった患者の受入れなどの支援を行う。	・在宅医療を行っている診療所や介護施設等と連携を図り、入院治療が必要となった患者の受入を適切に行い、レスパイト入院等が増加した。 【実績】通所及び訪問リハビリテーション延べ利用者数(日本海酒田リハビリテーション病院) 区分 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 通所リハ 3,841名 3,095名 1,141名 - 訪問リハ 229名 179名 - - ※訪問リハビリテーション: 令和4年1月から休止 ※通所リハビリテーション: 令和4年10月から休止 【実績】診療所等からの入院受入患者数(日本海酒田リハビリテーション病院) 令和2年度 6名 令和3年度 28名 令和4年度 32名 令和5年度 36名				

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																							
(ケ)一次医療とプライマリ・ケアの提供、充実																																														
へき地医療等、地域医療の維持、確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	へき地医療等、地域医療の維持、確保のため、診療所が設置されている各地域において、日常的な病気やけが等の患者に医療とプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関等に紹介するなど連携を図る。	<p>・診療所が設置されている各地域において、へき地医療等、地域医療の維持、確保を図り、一次医療の提供を行った。また、各診療所においては、総合診療を行うプライマリ・ケアを提供し、必要に応じて高度及び専門医療機関に紹介するなど、連携した医療の提供を行った。</p> <p>・中山間地域において身体状況や交通手段等で定期的な通院が困難な患者に対し、継続的な治療を行うことを目的とした医療 MaaS (Mobility as a Service) 事業の導入に向け、実証実験や運用の検討、車両整備等を行った。</p> <p>【実績】日本海総合病院への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>321件</td> <td>337件</td> <td>347件</td> <td>410件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>86件</td> <td>80件</td> <td>52件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>飛鳥診療所</td> <td>15件</td> <td>15件</td> <td>7件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】日本海総合病院以外への紹介件数(日本海八幡クリニック等診療所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>123件</td> <td>132件</td> <td>87件</td> <td>82件</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>28件</td> <td>22件</td> <td>12件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>飛鳥診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	日本海八幡クリニック	321件	337件	347件	410件	松山診療所	86件	80件	52件	64件	飛鳥診療所	15件	15件	7件	5件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	日本海八幡クリニック	123件	132件	87件	82件	松山診療所	28件	22件	12件	18件	飛鳥診療所	—	—	5件	2件	A		B	B
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																										
日本海八幡クリニック	321件	337件	347件	410件																																										
松山診療所	86件	80件	52件	64件																																										
飛鳥診療所	15件	15件	7件	5件																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																										
日本海八幡クリニック	123件	132件	87件	82件																																										
松山診療所	28件	22件	12件	18件																																										
飛鳥診療所	—	—	5件	2件																																										
イ 高度医療機器の計画的な更新・整備																																														
高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新、整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新、整備を行う。	高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新、整備計画を策定するとともに、高額医療機器については、利用見込みや収支予測を行い計画的な更新、整備を行う。	<p>・高度専門医療等の医療機器の更新にあたっては、整備計画を策定し、それに従い整備を行った。財源としては起債及び剰余金を活用した。</p> <p>・高度医療機器については、PET-CT装置、デジタルX線TVシステム、移動型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置等、医療機器整備計画を基に、利用見込みや収支予測を行い、計画的に更新・整備を行った。</p>	B		B	B																																								
ウ 災害時や健康危機における医療協力																																														
① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。また大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。	① 災害拠点病院として機能するよう、定期的に災害対応訓練を実施するとともに、災害時に必要な医療物資等の備蓄を行う。	<p>・動画配信による研修会、トリアージ研修会、机上訓練及び実働訓練を開催し、災害拠点病院として機能するよう、災害時の対応に備えた。</p> <p>【実績】災害医療研修及び訓練(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年5月26日～ 令和5年9月30日</td> <td>(災害医療研修会/動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ</td> <td>819名</td> </tr> <tr> <td>令和5年7月7日</td> <td>(災害医療研修会/トリアージ研修会) 模擬患者を使った"トリアージ研修会"</td> <td>110名</td> </tr> <tr> <td>令和5年9月10日</td> <td>(災害対応訓練/机上訓練) 机上での災害対応訓練の流れ</td> <td>191名</td> </tr> <tr> <td>令和5年11月3日</td> <td>(災害対応訓練/実働訓練) 災害実働訓練</td> <td>224名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・災害時に必要な医療物資等及び食料の備蓄を実施するとともに、燃料等の優先納入契約に関する協定を継続した。</p> <p>【実績】医療物資等及び食料の備蓄(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>白粥缶108ケース・鶏そぼろ27ケース・つくねと野菜スープ煮27ケース・水81ケース 他</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】燃料等の優先納入契約に関する協定(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>締結日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年4月1日</td> <td>災害時におけるA重油の優先供給に関する協定</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日</td> <td>災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	参加人数	令和5年5月26日～ 令和5年9月30日	(災害医療研修会/動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	819名	令和5年7月7日	(災害医療研修会/トリアージ研修会) 模擬患者を使った"トリアージ研修会"	110名	令和5年9月10日	(災害対応訓練/机上訓練) 机上での災害対応訓練の流れ	191名	令和5年11月3日	(災害対応訓練/実働訓練) 災害実働訓練	224名	年度	内容	令和5年度	白粥缶108ケース・鶏そぼろ27ケース・つくねと野菜スープ煮27ケース・水81ケース 他	締結日	内容	令和5年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定	令和5年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定	A		A	A															
実施日	内容	参加人数																																												
令和5年5月26日～ 令和5年9月30日	(災害医療研修会/動画配信) 災害医療の基礎とトリアージ	819名																																												
令和5年7月7日	(災害医療研修会/トリアージ研修会) 模擬患者を使った"トリアージ研修会"	110名																																												
令和5年9月10日	(災害対応訓練/机上訓練) 机上での災害対応訓練の流れ	191名																																												
令和5年11月3日	(災害対応訓練/実働訓練) 災害実働訓練	224名																																												
年度	内容																																													
令和5年度	白粥缶108ケース・鶏そぼろ27ケース・つくねと野菜スープ煮27ケース・水81ケース 他																																													
締結日	内容																																													
令和5年4月1日	災害時におけるA重油の優先供給に関する協定																																													
令和5年4月1日	災害時におけるガソリン等の優先供給に関する協定																																													
	② 大規模災害発生時には、県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等の現地派遣及びSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力するなど医療支援活動を行う。	<p>・大規模災害発生時に、県の要請等によるDMAT(災害派遣医療チーム)の現地派遣要請へ備え、大規模地震時医療活動訓練や庄内空港SCU訓練等各種研修会に参加し、職員の技能維持等に取り組んだ。</p> <p>・SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営協力として、山形県所有のSCU医療資材について、日本海総合病院で保管・点検等を実施し、緊急時に備えた。</p> <p>・令和6年能登半島地震発生後、県及び日本赤十字社からの要請に基づき、DMAT等の現地派遣を行い医療支援活動を行った。</p> <p>【実績】令和6年能登半島地震職員派遣(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>活動期間</th> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">DMAT</td> <td rowspan="3">令和6年1月7日～ 令和6年1月9日</td> <td>医師</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>ロジ</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">日本赤十字社 救護班</td> <td rowspan="3">令和6年1月13日～ 令和6年1月15日</td> <td>医師</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>ロジ</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>災害薬剤師</td> <td>令和6年1月18日～ 令和6年1月21日</td> <td>薬剤師</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	活動期間	職種	人数	DMAT	令和6年1月7日～ 令和6年1月9日	医師	1名	看護師	2名	ロジ	2名	日本赤十字社 救護班	令和6年1月13日～ 令和6年1月15日	医師	1名	看護師	3名	ロジ	2名	災害薬剤師	令和6年1月18日～ 令和6年1月21日	薬剤師	1名																				
区分	活動期間	職種	人数																																											
DMAT	令和6年1月7日～ 令和6年1月9日	医師	1名																																											
		看護師	2名																																											
		ロジ	2名																																											
日本赤十字社 救護班	令和6年1月13日～ 令和6年1月15日	医師	1名																																											
		看護師	3名																																											
		ロジ	2名																																											
災害薬剤師	令和6年1月18日～ 令和6年1月21日	薬剤師	1名																																											

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価		前年度計画 法人における自己評価																																										
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																											
<p>② 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。</p>	<p>③ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、定期的に訓練や研修を行う。</p>	<p>・日本海総合病院、鶴岡市立荘内病院、庄内保健所の3機関が主催となり、新興感染症等の発生を想定した合同訓練をオンライン形式で実施した。</p> <p>・山形県等の要請により、感染管理に精通した医師や看護師等で構成する感染症専門班等をクラスター発生施設に派遣し、感染対策の支援を行った。</p> <p>・地域における感染対策の向上を図るべく、高齢者施設職員を対象に感染症専門班による研修を実施した。</p> <p>【実績】日本海総合病院・鶴岡市立荘内病院・庄内保健所による新興感染症等の発生を想定した合同訓練</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年12月22日 (オンライン開催)</td> <td>「エムボックス疑い患者受診時における対応」 講師：国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター チーフフェロー 奥村 暢将 氏 ・エムボックス発生時の対応に関する動画視聴 ・ディスカッション「エムボックス疑い患者の受診から療養までの対応と課題」</td> <td>・医療機関 ・薬剤師会及び調剤薬局 ・関係行政機関 計37機関</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】感染症専門班等の派遣(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>依頼元</th> <th>派遣先</th> <th>期間</th> <th>職種</th> <th>延活動日数</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山形県</td> <td>鶴岡市 医療機関</td> <td>令和5年4月</td> <td>感染管理 認定看護師</td> <td>1日</td> <td>ゾーニング及び感染対策の相談等</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】感染症専門班の研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年11月24日</td> <td>庄内総合支庁講堂</td> <td>高齢者施設における 平時からの感染対策</td> <td>高齢者施設職員</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標とする災害等に係る訓練及び研修の実施回数については、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】災害等に係る訓練及び研修回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3回</td> <td>×</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	参加者	令和5年12月22日 (オンライン開催)	「エムボックス疑い患者受診時における対応」 講師：国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター チーフフェロー 奥村 暢将 氏 ・エムボックス発生時の対応に関する動画視聴 ・ディスカッション「エムボックス疑い患者の受診から療養までの対応と課題」	・医療機関 ・薬剤師会及び調剤薬局 ・関係行政機関 計37機関	依頼元	派遣先	期間	職種	延活動日数	活動内容	山形県	鶴岡市 医療機関	令和5年4月	感染管理 認定看護師	1日	ゾーニング及び感染対策の相談等	実施日	会場	内容	参加者	令和5年11月24日	庄内総合支庁講堂	高齢者施設における 平時からの感染対策	高齢者施設職員	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	3回	×	4回	○			4回	○			4回	○	<p>自己評価</p>	<p>評価</p>	<p>前年度計画の類似項目の評価</p>	<p>前年度計画 法人における自己評価</p>
実施日	内容	参加者																																														
令和5年12月22日 (オンライン開催)	「エムボックス疑い患者受診時における対応」 講師：国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター チーフフェロー 奥村 暢将 氏 ・エムボックス発生時の対応に関する動画視聴 ・ディスカッション「エムボックス疑い患者の受診から療養までの対応と課題」	・医療機関 ・薬剤師会及び調剤薬局 ・関係行政機関 計37機関																																														
依頼元	派遣先	期間	職種	延活動日数	活動内容																																											
山形県	鶴岡市 医療機関	令和5年4月	感染管理 認定看護師	1日	ゾーニング及び感染対策の相談等																																											
実施日	会場	内容	参加者																																													
令和5年11月24日	庄内総合支庁講堂	高齢者施設における 平時からの感染対策	高齢者施設職員																																													
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																													
3回	×	4回	○																																													
		4回	○																																													
		4回	○																																													
<p>エ 政策医療の実施</p>																																																
<p>① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。</p>	<p>① 第二種感染症指定医療機関として感染症に迅速かつ確に対応するため、受入体制及び備品等の整備に努める。 新型コロナウイルス感染症への対応については、県、市及び地域の医療機関等と連携を図りながら、重点医療機関として患者の受け入れや病床確保等の体制を整え、今後の進展等、状況に応じて迅速かつ柔軟な対応に努める。</p>	<p>・第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者や結核等の診療を積極的に実施した。</p> <p>【実績】新型コロナウイルス感染症患者の受入等(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数 (新型コロナウイルス感染症患者除く)</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数</td> <td>4,892件</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数</td> <td>2,449名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新型コロナウイルス感染症の5類移行後も入院・外来問わず、診察を継続した。</p>	区分	人数等	二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数 (新型コロナウイルス感染症患者除く)	9名	新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数	4,892件	新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数	2,449名	<p>S</p>		<p>S</p>	<p>S</p>																																		
区分	人数等																																															
二類感染症患者入院診療加算延べ算定患者数 (新型コロナウイルス感染症患者除く)	9名																																															
新型コロナウイルス感染症に係る検査延べ人数	4,892件																																															
新型コロナウイルス感染症による延べ入院患者数	2,449名																																															
<p>② 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。</p>	<p>② 認知症疾患医療センターとして、認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。</p>	<p>・認知症疾患医療センターとして、認知症患者の状況等に応じた専門医療相談、鑑別診断等を実施した。</p> <p>【実績】認知症疾患医療センター相談件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規</td> <td>315件</td> <td>442件</td> <td>435件</td> <td>435件</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>218件</td> <td>207件</td> <td>250件</td> <td>209件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	新規	315件	442件	435件	435件	継続	218件	207件	250件	209件	<p>B</p>		<p>B</p>	<p>B</p>																											
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																												
新規	315件	442件	435件	435件																																												
継続	218件	207件	250件	209件																																												
<p>③ 精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制をより充実させるため、精神病床設置について検討する。</p>	<p>③ 精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制をより充実させるため、精神病床設置について検討する。</p>	<p>・精神疾患及び身体合併症を伴う精神疾患患者に対する精神医療提供体制の充実のための精神病床設置について、検討を保留することとした。</p>	<p>B</p>		<p>B</p>	<p>B</p>																																										
<p>④ 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。</p>	<p>④ 脳死下臓器移植について、臓器提供施設として定期的に研修等を実施する。</p>	<p>・脳死下臓器移植について、提供施設として院内コーディネーターを中心としたシミュレーション(机上)を実施した。また、年2回開催された県主催の院内コーディネーター会議にもウェブで参加した。</p> <p>【実績】臓器提供シミュレーション(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年12月12日</td> <td>脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ</td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標とする脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修回数については、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】脳死判定シミュレーション等臓器提供に係る研修回数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>○</td> <td>1回</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1回</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	内容	参加人数	令和5年12月12日	脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ	13名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2回	○	1回	○			1回	○			1回	○	<p>A</p>		<p>A</p>	<p>A</p>																				
実施日	内容	参加人数																																														
令和5年12月12日	脳死下臓器移植提供シナリオ読み合わせ	13名																																														
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																													
2回	○	1回	○																																													
		1回	○																																													
		1回	○																																													

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																																								
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																																							
(2)医療スタッフの確保及び資質向上																																																														
ア 医療人材の確保・育成																																																														
① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の適切な人員確保に努める。	① 高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師に加え、診療放射線技師、臨床検査技師などの医療従事者の適切な人員確保に努める。	<p>・高度専門医療等の安定的な提供を図るため、医師、薬剤師、看護師のほか医療職8職種の募集、職員採用試験を計画的に実施し、医療従事者の確保に努めた。</p> <p>・採用実績は、看護師37名、医療技術者については計18名の職員を確保した。(医師、事務職除く)</p> <p>【実績】採用者人数(令和5年度採用試験)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>受験者数</th> <th>内定者数</th> <th>令和6年4月入職数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>初期臨床研修医</td><td>29名</td><td>13名</td><td>11名</td></tr> <tr><td>研修歯科医</td><td>9名</td><td>1名</td><td>0名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>44名</td><td>40名</td><td>37名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>2名</td><td>2名</td><td>0名</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>4名</td><td>1名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>臨床放射線技師</td><td>3名</td><td>1名</td><td>0名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>18名</td><td>7名</td><td>7名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>5名</td><td>4名</td><td>4名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>0名</td><td>0名</td><td>0名</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>11名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr> <tr><td>遺伝カウンセラー</td><td>2名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr> <tr><td>社会福祉士</td><td>6名</td><td>2名</td><td>2名</td></tr> <tr><td>計</td><td>133名</td><td>75名</td><td>66名</td></tr> </tbody> </table> <p>※事務職除く</p>	職 種	受験者数	内定者数	令和6年4月入職数	初期臨床研修医	29名	13名	11名	研修歯科医	9名	1名	0名	看護師	44名	40名	37名	薬剤師	2名	2名	0名	臨床検査技師	4名	1名	1名	臨床放射線技師	3名	1名	0名	理学療法士	18名	7名	7名	作業療法士	5名	4名	4名	言語聴覚士	0名	0名	0名	管理栄養士	11名	2名	2名	遺伝カウンセラー	2名	2名	2名	社会福祉士	6名	2名	2名	計	133名	75名	66名	S		S	S
職 種	受験者数	内定者数	令和6年4月入職数																																																											
初期臨床研修医	29名	13名	11名																																																											
研修歯科医	9名	1名	0名																																																											
看護師	44名	40名	37名																																																											
薬剤師	2名	2名	0名																																																											
臨床検査技師	4名	1名	1名																																																											
臨床放射線技師	3名	1名	0名																																																											
理学療法士	18名	7名	7名																																																											
作業療法士	5名	4名	4名																																																											
言語聴覚士	0名	0名	0名																																																											
管理栄養士	11名	2名	2名																																																											
遺伝カウンセラー	2名	2名	2名																																																											
社会福祉士	6名	2名	2名																																																											
計	133名	75名	66名																																																											
② 医師の働き方改革の動向を踏まえ、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	② 医師の働き方改革の動向を踏まえ、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するなど環境の整備を図る。	<p>・医師の働き方改革の動向を踏まえ、特定行為管理委員会において、看護師の特定行為研修修了者を積極的に活用するための環境を整備し、医師の負担軽減を図った。</p> <p>【実績】特定行為実施件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定行為</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>侵襲的陽圧換気の設定の変更</td><td>110件</td></tr> <tr><td>直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血</td><td>37件</td></tr> <tr><td>胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換</td><td>24件</td></tr> <tr><td>膀胱瘻カテーテルの交換</td><td>3件</td></tr> <tr><td>インスリン投与量の調整</td><td>3件</td></tr> <tr><td>脱水症状に対する輸液による補正</td><td>2件</td></tr> <tr><td>橈骨動脈ラインの確保</td><td>136件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>315件</td></tr> </tbody> </table>	特定行為	件数	侵襲的陽圧換気の設定の変更	110件	直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血	37件	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	24件	膀胱瘻カテーテルの交換	3件	インスリン投与量の調整	3件	脱水症状に対する輸液による補正	2件	橈骨動脈ラインの確保	136件	合計	315件																																										
特定行為	件数																																																													
侵襲的陽圧換気の設定の変更	110件																																																													
直接動脈血穿刺または直接動脈穿刺法による採血	37件																																																													
胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	24件																																																													
膀胱瘻カテーテルの交換	3件																																																													
インスリン投与量の調整	3件																																																													
脱水症状に対する輸液による補正	2件																																																													
橈骨動脈ラインの確保	136件																																																													
合計	315件																																																													
③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。	③ 初期臨床研修医及び専攻医(専門分野の研修医)を積極的に受け入れるなど、医師の確保に努める。	<p>・新専門医制度の下で、基幹施設として研修実施可能な4診療科(内科、外科、産婦人科、麻酔科)及び連携施設(内科、外科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、放射線科、病理診断科、救急科)として、多くの専攻医を受け入れ、医師確保に努めた。</p> <p>【実績】臨床研修医及び専攻医(レジデント)受入れ人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>68名</td> <td>68名</td> <td>67名</td> <td>73名</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		68名	68名	67名	73名																																																		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																										
	68名	68名	67名	73名																																																										
④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	④ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	<p>教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、外部講師派遣による役職別研修や各部門独自で専門能力を高める研修を実施した。</p>																																																												
⑤ 看護師や助産師の育成及び確保のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑤ 看護師や助産師の育成及び確保のため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	<p>・看護師及び助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与を継続して行い、新規貸与者4名を含む計14名に修学資金の貸与を実施し、貸与終了者4名のうち3名が当機構職員として入職した。</p> <p>【実績】看護師等修学資金の貸与</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">貸与</td> <td>貸与者</td> <td>14名</td> <td>15名</td> <td>14名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>うち新規貸与決定者</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">終了</td> <td>貸与終了者(A)</td> <td>8名</td> <td>4名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>うち法人就職者(B)</td> <td>8名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>入職率(B/A)</td> <td>100%</td> <td>50%</td> <td>80%</td> <td>75%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	貸与	貸与者	14名	15名	14名	14名	うち新規貸与決定者	6名	5名	4名	4名	終了	貸与終了者(A)	8名	4名	5名	4名	うち法人就職者(B)	8名	2名	4名	3名	入職率(B/A)	100%	50%	80%	75%																											
区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																									
貸与	貸与者	14名	15名	14名	14名																																																									
	うち新規貸与決定者	6名	5名	4名	4名																																																									
終了	貸与終了者(A)	8名	4名	5名	4名																																																									
	うち法人就職者(B)	8名	2名	4名	3名																																																									
	入職率(B/A)	100%	50%	80%	75%																																																									

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																																																					
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																																																				
<p>⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師及び認定看護師の新規取得のほか、新たに看護師の特定行為研修修了者の増加を目指す。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数</td> <td>期間中5名以上</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修修了者</td> <td>期間中4名以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上	特定行為研修修了者	期間中4名以上	<p>⑥ 看護師の資質向上のため、専門看護師及び認定看護師の新規取得及び看護師の特定行為研修修了者の増加に努める。</p>	<p>・看護師の資質向上のため、認定看護師の新規取得のほか、特定行為、専門看護師研修者を育成した。</p> <p>・自施設で実施している特定行為研修(術中麻酔管理領域パッケージ)については1名受講修了した。</p> <p>【実績】認定看護師等研修派遣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>特定行為研修</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標とする各種看護師資格の取得者数及び特定行為研修修了者数の目標値については、大幅に上回る事ができた。</p> <p>【実績】各種看護師資格の新規取得者数(法人全体)※期間中5名以上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>専門看護師</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>6名</td> <td>3名</td> <td>16名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】特定行為研修修了者数(法人全体)※期間中4名以上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定行為</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	認定看護師	1名	2名	2名	0名	専門看護師	0名	1名	1名	1名	特定行為研修	3名	2名	3名	2名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	認定看護師	1名	1名	2名	0名	4名	専門看護師	0名	0名	1名	1名	2名	特定行為	3名	2名	3名	2名	10名	計	4名	3名	6名	3名	16名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	特定行為	3名	2名	3名	2名	10名	自己評定	評定	評価	前年度計画の類似項目の評定	前年度計画 法人における自己評価
目標とする指標	目標値																																																																										
特定行為研修修了者、専門看護師資格の新規取得者数又は認定看護師資格の新規取得者数	期間中5名以上																																																																										
特定行為研修修了者	期間中4名以上																																																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																							
認定看護師	1名	2名	2名	0名																																																																							
専門看護師	0名	1名	1名	1名																																																																							
特定行為研修	3名	2名	3名	2名																																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																						
認定看護師	1名	1名	2名	0名	4名																																																																						
専門看護師	0名	0名	1名	1名	2名																																																																						
特定行為	3名	2名	3名	2名	10名																																																																						
計	4名	3名	6名	3名	16名																																																																						
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計																																																																						
特定行為	3名	2名	3名	2名	10名																																																																						
イ 事務職員の確保と専門性の向上																																																																											
<p>病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。</p>	<p>病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、事務職員の適切な採用及び配置を行うとともに、研修会等への参加の奨励及び支援等により、専門性と資質の向上に努める。</p>	<p>・病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、3名の事務職員を採用し、各課に配置することで、他業務、他職種との連携体制を構築した。</p> <p>・新規採用職員研修を実施し、文書作成や労務管理等を学ぶことを通して専門性と資質の向上に努めた。</p> <p>・事務職員の専門性と資質の向上のため、事務職員資格取得支援制度を活用し、令和5年度は、診療情報管理士に3名合格し、新たに通信教育(診療情報管理士)を4名が受講開始した。</p>	B			B	B																																																																				
ウ 職員の勤務環境の改善																																																																											
<p>① 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。</p>	<p>① 職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう、定期健康診断等の実施のほか、ストレスチェックによるメンタルヘルス対策及びハラスメント対策の充実を図る。</p>	<p>・職員が健康を維持し、また、業務に専念できるよう定期健康診断を実施した。</p> <p>・ストレスチェックに加え、長時間労働者については延べ35名に産業医面談を実施し職員の健康維持に努めた。</p> <p>・ハラスメント対策として新規採用者への研修、管理監督の立場にある主任以上の職員を対象に研修を実施した。</p> <p>【実績】ストレスチェックの受診状況(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施率</td> <td>87.80%</td> <td>91.10%</td> <td>89.50%</td> <td>79.00%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実施率	87.80%	91.10%	89.50%	79.00%	A			A	A																																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																							
実施率	87.80%	91.10%	89.50%	79.00%																																																																							
<p>② 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。</p>	<p>② 介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続など、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努める。</p>	<p>・介護や子育て等、家庭環境に配慮した支援及び医師のキャリアパスに配慮した医師短時間正職員制度や育児部分休業等の制度の活用を推進し、さらに院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育の継続等、働きやすい環境づくりを進め、職員のワーク・ライフ・バランスの向上に努めた。特に育児時間については取得者が大幅に増加した。</p> <p>【実績】医師短時間職員制度等利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師短時間</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>育児部分休業</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>育児短時間勤務</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>育児時間</td> <td>30名</td> <td>31名</td> <td>40名</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td>ベビーシッター等助成金</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>ハウスクリーニング等助成金</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>屋外清掃作業助成金</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	医師短時間	2名	3名	3名	2名	育児部分休業	0名	0名	1名	2名	育児短時間勤務	0名	1名	1名	1名	育児時間	30名	31名	40名	52名	ベビーシッター等助成金	1名	0名	0名	0名	ハウスクリーニング等助成金	3名	3名	2名	2名	屋外清掃作業助成金	1名	1名	0名	1名																																	
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																							
医師短時間	2名	3名	3名	2名																																																																							
育児部分休業	0名	0名	1名	2名																																																																							
育児短時間勤務	0名	1名	1名	1名																																																																							
育児時間	30名	31名	40名	52名																																																																							
ベビーシッター等助成金	1名	0名	0名	0名																																																																							
ハウスクリーニング等助成金	3名	3名	2名	2名																																																																							
屋外清掃作業助成金	1名	1名	0名	1名																																																																							
<p>③ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。</p>	<p>③ 医師事務作業補助者及び看護補助者等の適正な配置等により、医師をはじめ各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努める。</p>	<p>・病棟、外来及び文書作成に医師事務作業補助者を下記のとおり配置し、医師をはじめとする各職種の労働時間短縮・負担軽減を図り、効率的な業務遂行に努めた。</p> <p>【実績】医事クラーク配置数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68名</td> <td>70名</td> <td>76名</td> <td>79名</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	68名	70名	76名	79名																																																																	
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																								
68名	70名	76名	79名																																																																								

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																					
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類 似項目の評定																																																				
(3)医療サービスの効果的な提供																																																											
ア 地域連携の推進																																																											
<p>① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラ、人事交流、急性期機能の集約化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。さらに、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。</p>	<p>① 地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間の連携強化、訪問看護ステーションの在り方の検討等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努める。さらに、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用などにより、地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携の推進に努める。</p>	<p>・地域医療構想の実現及び地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」への参画により、引き続き、人工透析の機能分担、地域フォーミュラ、人事交流、急性期機能の集約化、看護管理者間、介護施設間の連携強化等を行い、地域の医療機関及び介護、福祉施設等との連携を強化し、切れ目のないサービスの提供に努めた。</p> <p>・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」をはじめとしたICTの活用等により、山形県全域および秋田県との地域及び医療圏を超えた広域的な医療連携、「あきたハートフルネット」との診療情報の相互連携を継続的に行った。</p> <p>【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5件</td> <td>41件</td> <td>48件</td> <td>45件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度から運用開始</p> <p>【実績】ちようかいネット・あきたハートフルネット相互閲覧件数(コンテンツ別)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンテンツ</th> <th>令和2～5年度 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処方(指示)</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>注射(指示)</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>検査</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>画像(指示)</td> <td>27件</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>画像一覧(画像の参照)</td> <td>87件</td> </tr> <tr> <td>サマリービュー</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>ノート(記録)</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	5件	41件	48件	45件	コンテンツ	令和2～5年度 合計	処方(指示)	10件	注射(指示)	2件	検査	7件	画像(指示)	27件	レポート	5件	画像一覧(画像の参照)	87件	サマリービュー	1件	ノート(記録)	12件	S			S	A																										
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																								
5件	41件	48件	45件																																																								
コンテンツ	令和2～5年度 合計																																																										
処方(指示)	10件																																																										
注射(指示)	2件																																																										
検査	7件																																																										
画像(指示)	27件																																																										
レポート	5件																																																										
画像一覧(画像の参照)	87件																																																										
サマリービュー	1件																																																										
ノート(記録)	12件																																																										
<p>② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図る。日本海総合病院では、毎年度において、紹介率55%以上及び逆紹介率75%以上を達成することを目標とする。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>毎年度55%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>毎年度75%以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	紹介率	毎年度55%以上	逆紹介率	毎年度75%以上	<p>② 地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度の活用などにより、かかりつけ医への紹介等連携を図る。</p> <p>【目標】日本海総合病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>55%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>75%以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	紹介率	55%以上	逆紹介率	75%以上	<p>・地域の医療サービスを効果的に提供するため、連携協力医登録制度を活用し、医療福祉センターの逆紹介サポート窓口において、社会福祉士が患者と面談し逆紹介について相談できる体制を構築するなど、かかりつけ医への紹介等連携を図った。</p> <p>【実績】紹介率、逆紹介率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.3%</td> <td>62.4%</td> <td>67.8%</td> <td>70.9%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>105.4%</td> <td>97.1%</td> <td>97.0%</td> <td>98.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標とする紹介率及び逆紹介率の目標値については、大幅に上回ることができた。</p> <p>【実績】紹介率、逆紹介率(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.3%</td> <td>○</td> <td>62.4%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>105.4%</td> <td>○</td> <td>97.1%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>67.8%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70.9%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	紹介率	70.3%	62.4%	67.8%	70.9%	逆紹介率	105.4%	97.1%	97.0%	98.2%	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	紹介率	70.3%	○	62.4%	○	逆紹介率	105.4%	○	97.1%	○				67.8%	○				70.9%	○	S			S	S
目標とする指標	目標値																																																										
紹介率	毎年度55%以上																																																										
逆紹介率	毎年度75%以上																																																										
目標とする指標	目標値																																																										
紹介率	55%以上																																																										
逆紹介率	75%以上																																																										
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																							
紹介率	70.3%	62.4%	67.8%	70.9%																																																							
逆紹介率	105.4%	97.1%	97.0%	98.2%																																																							
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																							
紹介率	70.3%	○	62.4%	○																																																							
逆紹介率	105.4%	○	97.1%	○																																																							
			67.8%	○																																																							
			70.9%	○																																																							

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																																	
イ 診療情報の共有化、地域クリティカルパスの活用																																																								
① 地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	① 地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」の拡大や活用促進に主体的に取り組み、他の医療機関や薬局、介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進を図ったことから、前年度と比べ登録患者が5,807名増加した。 <table border="1"> <caption>【実績】登録患者数等</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録患者数</td> <td>49,337名</td> <td>55,131名</td> <td>60,650名</td> <td>66,457名</td> </tr> <tr> <td>開示施設数</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td>閲覧施設数</td> <td>234施設</td> <td>237施設</td> <td>249施設</td> <td>264施設</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	登録患者数	49,337名	55,131名	60,650名	66,457名	開示施設数	8施設	8施設	8施設	8施設	閲覧施設数	234施設	237施設	249施設	264施設	A		A	A																														
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																				
登録患者数	49,337名	55,131名	60,650名	66,457名																																																				
開示施設数	8施設	8施設	8施設	8施設																																																				
閲覧施設数	234施設	237施設	249施設	264施設																																																				
② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	② 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的で適切な医療を提供するため、患者への負担軽減及び他の医療機関との機能分担を図りながら、地域連携クリティカルパスを継続して活用した。 ・地域連携クリティカルパスの運用により、他の医療・介護福祉機関と連携し支援を行った。 <table border="1"> <caption>【実績】地域連携クリティカルパス適用件数(日本海総合病院)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん</td> <td>22件</td> <td>24件</td> <td>11件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>11件</td> <td>7件</td> <td>8件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>18件</td> <td>15件</td> <td>9件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>大腿骨近位部骨折</td> <td>100件</td> <td>102件</td> <td>88件</td> <td>99件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>178件</td> <td>183件</td> <td>165件</td> <td>172件</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション</td> <td>99件</td> <td>98件</td> <td>86件</td> <td>99件</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>4件</td> <td>5件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	大腸がん	22件	24件	11件	1件	乳がん	11件	7件	8件	9件	胃がん	18件	15件	9件	0件	大腿骨近位部骨折	100件	102件	88件	99件	脳卒中	178件	183件	165件	172件	心臓リハビリテーション	99件	98件	86件	99件	前立腺がん	4件	5件	0件	2件														
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																				
大腸がん	22件	24件	11件	1件																																																				
乳がん	11件	7件	8件	9件																																																				
胃がん	18件	15件	9件	0件																																																				
大腿骨近位部骨折	100件	102件	88件	99件																																																				
脳卒中	178件	183件	165件	172件																																																				
心臓リハビリテーション	99件	98件	86件	99件																																																				
前立腺がん	4件	5件	0件	2件																																																				
	③ マイナンバーカードの健康保険証利用および電子処方箋の利用を促進し、地域の医療安全の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナ保険証の利用促進のため、再来受付機のうち1台を顔認証付カードリーダーと連携し、マイナ受付と同時に再来受付が行えるよう改修した。 ・令和4年10月から日本海総合病院にて電子処方箋先行導入・運用(モデル事業)を開始し、医師のHPKIカードの取得を推進、電子処方箋の利用を促進することで地域の医療安全向上に努めた。 <table border="1"> <caption>【実績】マイナ保険証利用件数等</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マイナ保険証利用件数</td> <td>6,227件</td> </tr> <tr> <td>電子処方箋発行枚数</td> <td>48,858件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和5年度	マイナ保険証利用件数	6,227件	電子処方箋発行枚数	48,858件																																																
区分	令和5年度																																																							
マイナ保険証利用件数	6,227件																																																							
電子処方箋発行枚数	48,858件																																																							
(4)教育研修事業の充実																																																								
ア 庄内地域における医療水準の向上																																																								
庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。さらに、救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	① 庄内地域における医療水準の向上に寄与するため、引き続き、関連大学の医学生を積極的に受け入れ、また、酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修医及びレジデントの受入れ並びに山形大学からのスチューデントドクター及び東北大学・自治医科大学からの地域医療実習生を積極的に受け入れ、質の高い医療従事者の育成に努めた。 <table border="1"> <caption>【実績】臨床研修医等の受入れ状況</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>28名</td> <td>26名</td> <td>28名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>専攻医(レジデント)</td> <td>40名</td> <td>42名</td> <td>39名</td> <td>45名</td> </tr> <tr> <td>スチューデントドクター(山形大学)</td> <td>45名</td> <td>68名</td> <td>66名</td> <td>64名</td> </tr> <tr> <td>高次臨床研修生(東北大学)</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>都道府県拠点病院実習(自治医科大学)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として看護師を育成するなど、質の高い医療従事者の育成に努めた。 <table border="1"> <caption>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海総合病院)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>78名</td> <td>73名</td> <td>77名</td> <td>82名</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>【実績】酒田看護専門学校実習実績(日本海酒田リハビリテーション病院)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習学生数</td> <td>26名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	臨床研修医	28名	26名	28名	28名	専攻医(レジデント)	40名	42名	39名	45名	スチューデントドクター(山形大学)	45名	68名	66名	64名	高次臨床研修生(東北大学)	3名	1名	2名	1名	都道府県拠点病院実習(自治医科大学)	-	-	-	1名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実習学生数	78名	73名	77名	82名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	実習学生数	26名	-	-	6名	A		A	B
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																				
臨床研修医	28名	26名	28名	28名																																																				
専攻医(レジデント)	40名	42名	39名	45名																																																				
スチューデントドクター(山形大学)	45名	68名	66名	64名																																																				
高次臨床研修生(東北大学)	3名	1名	2名	1名																																																				
都道府県拠点病院実習(自治医科大学)	-	-	-	1名																																																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																				
実習学生数	78名	73名	77名	82名																																																				
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																				
実習学生数	26名	-	-	6名																																																				
	② 救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士への実習等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士の技能向上等が図られるよう、救急救命士養成課程の就業前研修、再教育実習、山形県消防学校救急科の病院実習を実施し、計35名の実習生の受け入れを行った。 <table border="1"> <caption>【実績】実習生受入人数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業前研修</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>33名</td> <td>31名</td> <td>30名</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>病院実習</td> <td>10名</td> <td>7名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44名</td> <td>41名</td> <td>36名</td> <td>35名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	就業前研修	1名	3名	2名	1名	再教育実習	33名	31名	30名	31名	病院実習	10名	7名	4名	3名	計	44名	41名	36名	35名																													
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																				
就業前研修	1名	3名	2名	1名																																																				
再教育実習	33名	31名	30名	31名																																																				
病院実習	10名	7名	4名	3名																																																				
計	44名	41名	36名	35名																																																				

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																		
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																	
イ 住民意識の啓発活動																								
住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や広報誌「あきほ」の活用等を通じた、医療や健康に関する情報の発信に努める。	住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。また、地域住民を対象としたセミナーの実施や広報誌「あきほ」の活用等を通じた、医療や健康に関する情報の発信に努める。	<p>・住民の健康意識の向上のため、住民を対象としたセミナーとして、生涯学習施設「里仁館」が主催した健康講座に職員を派遣し、関係機関と連携し、啓発活動に努めた。また、地域住民を対象に市民公開講座を開催し、がんに関する情報提供を行った。</p> <p>・広報誌「あきほ」の活用等を通して、医療や健康に関する情報の発信し、啓発活動を行った。</p> <p>【実績】健康講座(開催場所:酒田市総合文化センター)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年6月7日</td> <td>『糖尿病についての話』 副院長 木村 守 氏</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>令和5年6月28日</td> <td>『生活習慣病とは』 認定看護師 五十嵐 理奈 氏</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>令和5年7月26日</td> <td>『全身と口腔の関わりについて』 診療部長(兼)歯科口腔外科部長 櫻井 博理 氏</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】がん診療連携拠点病院公開講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年7月2日</td> <td>がんには負けない筋トレ習慣！ 「運動が治療に役立つ」って本当？ 産業医科大学 佐藤 典宏 氏</td> <td>181名</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容等	参加人数	令和5年6月7日	『糖尿病についての話』 副院長 木村 守 氏	16名	令和5年6月28日	『生活習慣病とは』 認定看護師 五十嵐 理奈 氏	13名	令和5年7月26日	『全身と口腔の関わりについて』 診療部長(兼)歯科口腔外科部長 櫻井 博理 氏	14名	開催日	内容等	参加人数	令和5年7月2日	がんには負けない筋トレ習慣！ 「運動が治療に役立つ」って本当？ 産業医科大学 佐藤 典宏 氏	181名				
開催日	内容等	参加人数																						
令和5年6月7日	『糖尿病についての話』 副院長 木村 守 氏	16名																						
令和5年6月28日	『生活習慣病とは』 認定看護師 五十嵐 理奈 氏	13名																						
令和5年7月26日	『全身と口腔の関わりについて』 診療部長(兼)歯科口腔外科部長 櫻井 博理 氏	14名																						
開催日	内容等	参加人数																						
令和5年7月2日	がんには負けない筋トレ習慣！ 「運動が治療に役立つ」って本当？ 産業医科大学 佐藤 典宏 氏	181名																						
3 患者・住民の満足度の向上																								
① 来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努める。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備する。	① 来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努める。また、入退院支援センターの活用により入院から退院まで包括的にサポートできる体制を整備する。	<p>・来院者の意見等を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮等改善に努めた。また、入退院支援センターの活用により、入院前～入院～退院まで包括的にサポートできる体制を整備した。</p> <p>【実績】入退院支援加算 算定件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,317件</td> <td>2,457件</td> <td>2,342件</td> <td>2,676件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入退院支援センター:令和2年2月17日から運用開始</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2,317件	2,457件	2,342件	2,676件	A		A	A										
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																					
2,317件	2,457件	2,342件	2,676件																					
② ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供する。	② ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院及び診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供する。	<p>・ウェブサイト及び広報誌等を通じ、それぞれの病院や診療所の役割等に関する情報を分かりやすく提供するため、ホームページでの病院情報の発信や病院広報誌「あきほ」の発行により、地域住民に分かりやすく、かつ幅広い情報発信を行った。</p> <p>・目標とする病院広報誌発行回数については、目標値どおり発行することができた。</p> <p>【実績】病院広報誌発行回数(法人全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>4回</td> <td>○</td> <td>4回</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回	○	4回	○	4回	○	4回	○										
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																					
4回	○	4回	○																					
4回	○	4回	○																					
【目標】法人全体	【目標】法人全体																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院広報誌発行回数</td> <td>毎年度4回</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	病院広報誌発行回数	毎年度4回	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院広報誌発行回数</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	病院広報誌発行回数	4回															
目標とする指標	目標値																							
病院広報誌発行回数	毎年度4回																							
目標とする指標	目標値																							
病院広報誌発行回数	4回																							
4 法令等の遵守と情報公開の推進																								
① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。	① 職員に対する、法令及び倫理綱領並びに適正な病院運営と業務執行等におけるコンプライアンスの周知徹底に取り組む。	<p>・職員研修において、法令及び倫理綱領並びに業務執行等におけるコンプライアンスの内容を周知するとともに、法令遵守、職務遂行を就業規則に規定し院内イントラネットで常時周知するなど、職員に対して周知徹底に取り組んだ。</p>	B		B	B																		
② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、また文書管理については、山形県公文書等管理条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	② 医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、また文書管理については、山形県公文書等管理条例に基づき、それぞれ適切に対応する。	<p>・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、県の機関に準じて適切に行った。</p> <p>【実績】診療情報提供申出件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43件</td> <td>59件</td> <td>43件</td> <td>57件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・文書管理についても、山形県公文書等管理条例に基づき、県の機関に準じて保存・廃棄等適切に対応した。</p>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	43件	59件	43件	57件														
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																					
43件	59件	43件	57件																					
③ セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図る。	③ セキュリティに関する研修会等により、適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図る。	<p>・適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、全職員に向けたe-ラーニング研修を実施し、地域医療情報ネットワーク「ちようかいネット」に新規参加する介護事業者及び新たに利用開始するユーザーに対して、対面でのセキュリティ研修会を実施した。</p> <p>【実績】職員セキュリティ研修</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>参加状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全職員対象e-ラーニング</td> <td>558名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】ちようかいネットセキュリティ研修会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>参加状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規参加介護事業者等</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	参加状況	全職員対象e-ラーニング	558名	対象者	参加状況	新規参加介護事業者等	18名														
対象者	参加状況																							
全職員対象e-ラーニング	558名																							
対象者	参加状況																							
新規参加介護事業者等	18名																							

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人にお ける自己 評価																																																					
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類 似項目の評定																																																				
5 医療安全対策の充実・強化																																																											
住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うなど、診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図る。	<p>・住民に信頼される安全で安心な医療を提供するため、医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を各2回行った。診療プロセス全体におけるリスクマネジメントの強化を図った。</p> <p>・開催方法については、開催当日の集合研修の他に、未受講者に対して開催当日の録画映像の上映やeラーニングによる配信等を行った。定期的に未受講者への通知を行い、より多くの職員が受講できるよう取り組んだ。</p> <p>【実績】医療安全研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年9月1日</td> <td>第1回 医療安全全体研修会 『クリニカルパスと医療安全』 山梨大学大学院 総合研究部医学域 臨床医学系 特任教授 小林 美亜 氏</td> <td>1,131名</td> </tr> <tr> <td>令和5年9月26日</td> <td>第2回 医療安全全体研修会 『当院のRRS対応の現状について』 救命救急センター長 陳 正浩 氏</td> <td>1,124名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】院内感染対策研修会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年7月31日</td> <td>第1回院内感染対策研修会 『再興感染症としてのサル痘(Mpox)～流行状況、診 断、および感染対策』 山形県立中央病院 感染症内科・感染対策部 客員研究員 Dhammika Leshan Wannigama 氏 感染対策部長 阿部 修一 氏</td> <td>1,150名</td> </tr> <tr> <td>令和5年11月17日</td> <td>第2回院内感染対策研修会 『庄内AMR等対策ネットワークのこれまで、とこれから』 山形県庄内保健所 医療監兼所長 蘆野 吉和 氏</td> <td>1,074名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】医療安全研修会(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和6年2月9日</td> <td>第1回 医療安全研修会 1 安静度表について(回復期) 2 エンゼルケアについて(療養) 3 介護士学会参加報告</td> <td>98名</td> </tr> <tr> <td>令和6年3月22日</td> <td>第2回 医療安全研修会・動画配信 1 せん妄予防/早期対応指示 (不眠・不穏時)の導入について 2 医療ガスの安全管理と事故防止策</td> <td>96名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】院内感染対策研修会(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年7月5日 令和5年7月11日 令和5年7月20日</td> <td>第1回 院内感染対策研修会・動画配信 標準予防策と接触感染予防策について</td> <td>104名</td> </tr> <tr> <td>令和5年11月8日 令和5年11月17日 令和5年11月30日</td> <td>第2回 院内感染対策研修会・動画配信 当院での5類移行後の新型コロナウイルス 感染症について</td> <td>99名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標とする医療安全対策及び院内感染対策に係る研修回数については、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】医療安全対策及び院内感染対策に係る研修回数 (日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修内容等	参加人数	令和5年9月1日	第1回 医療安全全体研修会 『クリニカルパスと医療安全』 山梨大学大学院 総合研究部医学域 臨床医学系 特任教授 小林 美亜 氏	1,131名	令和5年9月26日	第2回 医療安全全体研修会 『当院のRRS対応の現状について』 救命救急センター長 陳 正浩 氏	1,124名	開催日	研修内容等	参加人数	令和5年7月31日	第1回院内感染対策研修会 『再興感染症としてのサル痘(Mpox)～流行状況、診 断、および感染対策』 山形県立中央病院 感染症内科・感染対策部 客員研究員 Dhammika Leshan Wannigama 氏 感染対策部長 阿部 修一 氏	1,150名	令和5年11月17日	第2回院内感染対策研修会 『庄内AMR等対策ネットワークのこれまで、とこれから』 山形県庄内保健所 医療監兼所長 蘆野 吉和 氏	1,074名	開催日	研修内容等	参加人数	令和6年2月9日	第1回 医療安全研修会 1 安静度表について(回復期) 2 エンゼルケアについて(療養) 3 介護士学会参加報告	98名	令和6年3月22日	第2回 医療安全研修会・動画配信 1 せん妄予防/早期対応指示 (不眠・不穏時)の導入について 2 医療ガスの安全管理と事故防止策	96名	開催日	研修内容等	参加人数	令和5年7月5日 令和5年7月11日 令和5年7月20日	第1回 院内感染対策研修会・動画配信 標準予防策と接触感染予防策について	104名	令和5年11月8日 令和5年11月17日 令和5年11月30日	第2回 院内感染対策研修会・動画配信 当院での5類移行後の新型コロナウイルス 感染症について	99名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○	B			B	B
開催日	研修内容等	参加人数																																																									
令和5年9月1日	第1回 医療安全全体研修会 『クリニカルパスと医療安全』 山梨大学大学院 総合研究部医学域 臨床医学系 特任教授 小林 美亜 氏	1,131名																																																									
令和5年9月26日	第2回 医療安全全体研修会 『当院のRRS対応の現状について』 救命救急センター長 陳 正浩 氏	1,124名																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																									
令和5年7月31日	第1回院内感染対策研修会 『再興感染症としてのサル痘(Mpox)～流行状況、診 断、および感染対策』 山形県立中央病院 感染症内科・感染対策部 客員研究員 Dhammika Leshan Wannigama 氏 感染対策部長 阿部 修一 氏	1,150名																																																									
令和5年11月17日	第2回院内感染対策研修会 『庄内AMR等対策ネットワークのこれまで、とこれから』 山形県庄内保健所 医療監兼所長 蘆野 吉和 氏	1,074名																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																									
令和6年2月9日	第1回 医療安全研修会 1 安静度表について(回復期) 2 エンゼルケアについて(療養) 3 介護士学会参加報告	98名																																																									
令和6年3月22日	第2回 医療安全研修会・動画配信 1 せん妄予防/早期対応指示 (不眠・不穏時)の導入について 2 医療ガスの安全管理と事故防止策	96名																																																									
開催日	研修内容等	参加人数																																																									
令和5年7月5日 令和5年7月11日 令和5年7月20日	第1回 院内感染対策研修会・動画配信 標準予防策と接触感染予防策について	104名																																																									
令和5年11月8日 令和5年11月17日 令和5年11月30日	第2回 院内感染対策研修会・動画配信 当院での5類移行後の新型コロナウイルス 感染症について	99名																																																									
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																								
4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○																																																								
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																								
4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○																																																								
<p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全 対策及び院内感染対策に係る研修</td> <td>毎年度4回以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	医療安全 対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度4回以上	<p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全 対策及び院内感染対策に係る研修</td> <td>4回以上</td> </tr> </tbody> </table>	目標とする指標	目標値	医療安全 対策及び院内感染対策に係る研修	4回以上	<p>【実績】医療安全対策及び院内感染対策に係る研修回数 (日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> <td>4回 ○</td> </tr> </tbody> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○																																	
目標とする指標	目標値																																																										
医療安全 対策及び院内感染対策に係る研修	毎年度4回以上																																																										
目標とする指標	目標値																																																										
医療安全 対策及び院内感染対策に係る研修	4回以上																																																										
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																								
4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○																																																								
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																								
4回 ○	4回 ○	4回 ○	4回 ○																																																								

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																						
1 組織マネジメントの強化、災害発生時の業務継続性の確保																							
<p>① 運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>内部監査</td> <td>毎年度2項目以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	内部監査	毎年度2項目以上	<p>① 運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を通して内部統制の推進を図るとともに、自律性のある効率的な業務運営を行う。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>内部監査</td> <td>2項目以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	内部監査	2項目以上	<p>・運営委員会、診療部運営会議、業務改善委員会、経営戦略会議等の定期的な開催を通して、内部統制の推進を図った。</p> <p>・自律性のある効率的な業務運営を行うため、内部による医療費未収金集金業務及び給与の支給状況に係る会計監査を実施した。</p> <p>・目標とする内部監査の項目数については、目標値どおり実施することができた。</p> <p>【実績】内部監査実施項目数 法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>2項目</td> <td>○</td> <td>2項目</td> <td>○</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	2項目	○	2項目	○	A			B	B
目標とする指標	目標値																						
内部監査	毎年度2項目以上																						
目標とする指標	目標値																						
内部監査	2項目以上																						
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																				
2項目	○	2項目	○																				
② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。	② 災害発生時でも医療提供機能が損なわれないよう、また万が一、一時的な機能低下状態に陥っても速やかに回復できるよう、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(業務継続計画)に基づき業務の継続性を確保する。	<p>・災害発生時等において、非常時の業務マネジメント体制を整備しておくとともに、BCP(事業継続計画)に基づき業務の継続性を確保できるよう、災害対策マニュアル・BCPマニュアル等の見直しを行った。</p>																					
	③ ランサムウェア等による被害を未然防止し、また万が一、被害を受けたとしても速やかにバックアップから回復できるよう、サイバーセキュリティ対策の強化を行い、業務の継続性を確保する。	<p>・ランサムウェア対策が施されたバックアップシステムを導入し、院内とクラウドサーバ上に複数世代のバックアップ保管、SOC(Security Operation Center)によるセキュリティログの監視と解析を令和5年4月から開始した。</p> <p>・令和5年8月にはサイバーセキュリティチェックリストを基に管理運用体制の見直しを行った。</p>																					
2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用																							
医療需要の変化に対応するため、医療従事者の適切な配置等を行い、診療体制の適正化を図る。また、多様な勤務形態及び専門的職種等の活用を図り、効率的な業務運営に努める。	医療需要の変化に対応するため、医療従事者の適切な配置等を行い、診療体制の適正化を図る。また、多様な勤務形態及び専門的職種等の活用を図り、効率的な業務運営に努める。	<p>・医療需要の変化に迅速かつ的確に対応するため、定期的な人事異動により適材適所の配置に努めるとともに、診療体制の適正化を図った。</p> <p>・医師短時間正職員制度を利用することで、医師がキャリアを中断することなく安心して意欲的に勤務できるよう努めるとともに、時差出勤制度を導入し多様な勤務形態の活用を図った。</p> <p>・入院支援センターでは多職種が協力し、効果的な業務運営を行った。</p>	B				B	B															
3 業務の効率化、職員の意欲向上																							
① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い業務の効率化に努める。また、各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等について検討する。	① 各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い業務の効率化に努める。また、各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等に努める。	<p>・各種委員会等において、業務プロセスの見直しや課題等への対応を適切に行い、業務の効率化に努めた。</p> <p>【実績】業務改善委員会(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>新規提案</td> <td>23件</td> <td>33件</td> <td>15件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>終了</td> <td>16件</td> <td>27件</td> <td>19件</td> <td>18件</td> </tr> </table> <p>・各業務においては、連携、機能分化の推進に努めるとともに、業務負担軽減に繋がるようタスクシフティングの推進等に努めた。</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	新規提案	23件	33件	15件	21件	終了	16件	27件	19件	18件	A				A	A
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																			
新規提案	23件	33件	15件	21件																			
終了	16件	27件	19件	18件																			
② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	② 職員の能力や経験等を適切に評価し、昇任等に反映することで意欲向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	<p>・職員の能力や経験を適切に評価し、意欲向上を図るため、40名を昇任させた。看護部では副看護師長を2名体制としリーダーシップを発揮できる人材の育成を行った。</p>																					

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																																																																																													
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																																																																																												
4 経営基盤の安定化																																																																																																																			
(1)収入の確保																																																																																																																			
<p>① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>DPC特定病院群適用</td> <td>期間中継続</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	DPC特定病院群適用	期間中継続	<p>① 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、施設基準の取得や見直しを行うとともに、DPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、日本海総合病院では、DPC特定病院群の適用を維持し収益の確保を図る。</p>	<p>・診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するため、新たな施設基準の取得や見直しを行い、増収を図った。 新規施設基準取得による増収額 5,164,440円</p> <p>・日本海総合病院ではDPC係数等に対する分析及び評価を適切に行い、令和5年度もDPC特定病院群が適用となった。また、収益の確保を図るため経営戦略会議にて要件の確認及び報告を行い、データ解析を進めた後、運用改善を院内の関係部署と連携しながら実施した。</p> <p>・目標とするDPC特定病院群の適用については、目標どおり維持することができた。</p> <p>【実施】DPC特定病院群適用(法人全体)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>適用 ○</td> <td>適用 ○</td> <td>適用 ○</td> <td>適用 ○</td> </tr> </table>	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	適用 ○	適用 ○	適用 ○	適用 ○	A		A	A																																																																																																	
目標とする指標	目標値																																																																																																																		
DPC特定病院群適用	期間中継続																																																																																																																		
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																
適用 ○	適用 ○	適用 ○	適用 ○																																																																																																																
<p>② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。</p>	<p>② 退院時会計の推進等により未収金の発生防止に努め、また、未収金が発生した場合は、多様な方法により早期回収に努める。</p>	<p>・入退院センターでの退院時会計を引き続き実施し、入院費を早期に請求することで未収金発生防止に努めた。</p> <p>・未収金回収業務のフローを見直し、原則、未収金の発生から6カ月後を目途に弁護士法人に回収業務を委託することで、回収率向上に努めた。</p>																																																																																																																	
(2)費用の抑制																																																																																																																			
<p>医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り後発医薬品の使用促進に努める。</p> <p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア率</td> <td>毎年度85%以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上	<p>医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により、人件費の適正化に努める。また、材料費についても収益の状況を常に把握しながら費用削減に努め、医薬品においては、地域フォーミュラの推進を図り後発医薬品の使用促進に努める。</p> <p>【目標】日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院</p> <table border="1"> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>後発医薬品数量シェア率</td> <td>85%以上</td> </tr> </table>	目標とする指標	目標値	後発医薬品数量シェア率	85%以上	<p>・医療を取り巻く環境の変化や患者動向に対応し、給与水準や職員配置の適正化、業務の委託等により人件費の適正化に努め、材料費についても、収益の状況を把握しながら費用削減に努めた。また、医薬品については、地域フォーミュラの推進を図り、後発医薬品の使用促進に努めた。</p> <p>【実績】費用に係る比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和2年度</th> <th colspan="3">令和3年度</th> <th colspan="3">令和4年度</th> <th colspan="3">令和5年度</th> </tr> <tr> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院(法人管理部含む)</td> <td>43.4%</td> <td>28.7%</td> <td>16.3%</td> <td>44.1%</td> <td>29.1%</td> <td>16.9%</td> <td>42.8%</td> <td>28.4%</td> <td>16.6%</td> <td>42.6%</td> <td>30.0%</td> <td>18.2%</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>77.3%</td> <td>1.8%</td> <td>0.8%</td> <td>78.1%</td> <td>2.0%</td> <td>0.9%</td> <td>81.8%</td> <td>1.9%</td> <td>0.7%</td> <td>73.9%</td> <td>2.2%</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック等診療所</td> <td>54.5%</td> <td>11.1%</td> <td>9.8%</td> <td>55.6%</td> <td>10.6%</td> <td>9.2%</td> <td>55.0%</td> <td>9.2%</td> <td>7.5%</td> <td>55.6%</td> <td>8.4%</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>45.4%</td> <td>27.0%</td> <td>15.4%</td> <td>46.1%</td> <td>27.4%</td> <td>15.9%</td> <td>44.9%</td> <td>26.8%</td> <td>15.7%</td> <td>44.3%</td> <td>28.3%</td> <td>17.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・目標とする後発医薬品数量シェア率の目標値については、日本海総合病院、日本海酒田リハビリテーション病院ともに上回る事ができた。</p> <p>【実績】後発医薬品数量シェア率</p> <p>(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>90%</td> <td>90%</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(日本海酒田リハビリテーション病院)</p> <table border="1"> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> <tr> <td>89%</td> <td>94%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>	区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院(法人管理部含む)	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%	42.8%	28.4%	16.6%	42.6%	30.0%	18.2%	日本海酒田リハビリテーション病院	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%	81.8%	1.9%	0.7%	73.9%	2.2%	0.8%	日本海八幡クリニック等診療所	54.5%	11.1%	9.8%	55.6%	10.6%	9.2%	55.0%	9.2%	7.5%	55.6%	8.4%	6.9%	病院機構全体	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%	44.9%	26.8%	15.7%	44.3%	28.3%	17.2%	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	90%	90%	92%	○	○	○	○	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	89%	94%	95%	95%	○	○	○	○	A		A	A									
目標とする指標	目標値																																																																																																																		
後発医薬品数量シェア率	毎年度85%以上																																																																																																																		
目標とする指標	目標値																																																																																																																		
後発医薬品数量シェア率	85%以上																																																																																																																		
区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度																																																																																																									
	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																																							
日本海総合病院(法人管理部含む)	43.4%	28.7%	16.3%	44.1%	29.1%	16.9%	42.8%	28.4%	16.6%	42.6%	30.0%	18.2%																																																																																																							
日本海酒田リハビリテーション病院	77.3%	1.8%	0.8%	78.1%	2.0%	0.9%	81.8%	1.9%	0.7%	73.9%	2.2%	0.8%																																																																																																							
日本海八幡クリニック等診療所	54.5%	11.1%	9.8%	55.6%	10.6%	9.2%	55.0%	9.2%	7.5%	55.6%	8.4%	6.9%																																																																																																							
病院機構全体	45.4%	27.0%	15.4%	46.1%	27.4%	15.9%	44.9%	26.8%	15.7%	44.3%	28.3%	17.2%																																																																																																							
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																
89%	90%	90%	92%																																																																																																																
○	○	○	○																																																																																																																
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																
89%	94%	95%	95%																																																																																																																
○	○	○	○																																																																																																																

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																																																																																																																																
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																																																																																																																															
第4 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画	第3 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画																																																																																																																																																					
<p>効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の営業収支比率及び経常収支比率の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>毎年度100%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>中期目標を着実に達成するための予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおり見込むこととする。また、各年度において的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。</p>	目標とする指標	目標値	経常収支比率	毎年度100%以上	営業収支比率	毎年度100%以上	<p>効率的かつ効果的な経営を持続するため、日頃から経営状況の把握や情報共有等に努める。さらに今後の医療環境の変化に対応し、各年度における法人全体の営業収支比率及び経常収支比率の目標を次のとおり設定するとともに、資金収支の均衡を図る。</p> <p>【目標】法人全体</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標とする指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>100%以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>予算、収支計画及び資金計画については、別表1～3のとおり見込むこととする。また、的確な資金需要予測に基づく資金計画を立て、短期借入金の抑制に努める。</p>	目標とする指標	目標値	経常収支比率	100%以上	営業収支比率	100%以上	<p>・効率的かつ効果的な経営を持続するため、運営委員会や経営戦略会議等において、各職員へ経営状況の情報共有等を図った。</p> <p>・適切な資金計画に基づき、法人全体の資金収支の均衡や短期借入金の抑制を図った。</p> <p>・目標とする経常収支比率及び営業収支比率の目標値を上回ることができた。</p> <p>【実績】経常収支比率、営業収支比率(法人全体)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>105.8% ○</td> <td>104.6% ○</td> <td>106.7% ○</td> <td>102.4% ○</td> </tr> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>105.1% ○</td> <td>104.2% ○</td> <td>106.0% ○</td> <td>106.0% ○</td> </tr> </tbody> </table> <p>別表1 予算及び決算</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>25,137</td> <td>26,306</td> <td>1,169</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>23,681</td> <td>24,637</td> <td>956</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>22,255</td> <td>23,205</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>1,426</td> <td>1,432</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>214</td> <td>418</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金等</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>176</td> <td>380</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td> 臨時利益</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,232</td> <td>1,240</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金等</td> <td>649</td> <td>649</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>582</td> <td>573</td> <td>△ 9</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td>25,113</td> <td>24,683</td> <td>△ 430</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>22,371</td> <td>22,178</td> <td>△ 193</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>22,179</td> <td>22,009</td> <td>△ 170</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>10,668</td> <td>10,890</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>7,241</td> <td>7,228</td> <td>△ 13</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>4,131</td> <td>3,860</td> <td>△ 271</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>139</td> <td>31</td> <td>△ 108</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>192</td> <td>169</td> <td>△ 23</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>113</td> <td>103</td> <td>△ 10</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>2,629</td> <td>2,402</td> <td>△ 227</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>1,332</td> <td>1,105</td> <td>△ 227</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返還金</td> <td>1,288</td> <td>1,288</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 奨学金貸付</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>△ 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	経常収支比率	105.8% ○	104.6% ○	106.7% ○	102.4% ○	営業収支比率	105.1% ○	104.2% ○	106.0% ○	106.0% ○	区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収入	25,137	26,306	1,169	営業収益	23,681	24,637	956	医業収益	22,255	23,205	950	運営費負担金	1,426	1,432	6	営業外収益	214	418	204	運営費負担金等	38	38	0	その他	176	380	204	臨時利益	10	11	1	資本収入	1,232	1,240	8	運営費負担金等	649	649	0	長期借入金	582	573	△ 9	その他	1	17	16	区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	支出	25,113	24,683	△ 430	営業費用	22,371	22,178	△ 193	医業費用	22,179	22,009	△ 170	給与費	10,668	10,890	222	材料費	7,241	7,228	△ 13	経費	4,131	3,860	△ 271	研究研修費	139	31	△ 108	一般管理費	192	169	△ 23	営業外費用	113	103	△ 10	臨時損失	0	1	1	資本支出	2,629	2,402	△ 227	建設改良費	1,332	1,105	△ 227	長期借入金返還金	1,288	1,288	0	奨学金貸付	8	8	0	その他	1	0	△ 1	A			A	A
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																					
経常収支比率	毎年度100%以上																																																																																																																																																					
営業収支比率	毎年度100%以上																																																																																																																																																					
目標とする指標	目標値																																																																																																																																																					
経常収支比率	100%以上																																																																																																																																																					
営業収支比率	100%以上																																																																																																																																																					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																																																																																		
経常収支比率	105.8% ○	104.6% ○	106.7% ○	102.4% ○																																																																																																																																																		
営業収支比率	105.1% ○	104.2% ○	106.0% ○	106.0% ○																																																																																																																																																		
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																			
収入	25,137	26,306	1,169																																																																																																																																																			
営業収益	23,681	24,637	956																																																																																																																																																			
医業収益	22,255	23,205	950																																																																																																																																																			
運営費負担金	1,426	1,432	6																																																																																																																																																			
営業外収益	214	418	204																																																																																																																																																			
運営費負担金等	38	38	0																																																																																																																																																			
その他	176	380	204																																																																																																																																																			
臨時利益	10	11	1																																																																																																																																																			
資本収入	1,232	1,240	8																																																																																																																																																			
運営費負担金等	649	649	0																																																																																																																																																			
長期借入金	582	573	△ 9																																																																																																																																																			
その他	1	17	16																																																																																																																																																			
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																			
支出	25,113	24,683	△ 430																																																																																																																																																			
営業費用	22,371	22,178	△ 193																																																																																																																																																			
医業費用	22,179	22,009	△ 170																																																																																																																																																			
給与費	10,668	10,890	222																																																																																																																																																			
材料費	7,241	7,228	△ 13																																																																																																																																																			
経費	4,131	3,860	△ 271																																																																																																																																																			
研究研修費	139	31	△ 108																																																																																																																																																			
一般管理費	192	169	△ 23																																																																																																																																																			
営業外費用	113	103	△ 10																																																																																																																																																			
臨時損失	0	1	1																																																																																																																																																			
資本支出	2,629	2,402	△ 227																																																																																																																																																			
建設改良費	1,332	1,105	△ 227																																																																																																																																																			
長期借入金返還金	1,288	1,288	0																																																																																																																																																			
奨学金貸付	8	8	0																																																																																																																																																			
その他	1	0	△ 1																																																																																																																																																			

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																																																																																																													
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】		自己評定	評定	評 価	前年度計画の類似項目の評定																																																																																																																												
		別表2 収支計画 (単位：百万円)																																																																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>24,458</td> <td>25,857</td> <td>1,199</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>24,222</td> <td>25,231</td> <td>1,009</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>22,212</td> <td>23,161</td> <td>949</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,426</td> <td>1,432</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td> 資産見返運営費負担金等戻入</td> <td>584</td> <td>638</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>226</td> <td>415</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他医業外収益</td> <td>188</td> <td>377</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td> 臨時利益</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>24,455</td> <td>25,067</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>23,203</td> <td>23,811</td> <td>608</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>23,027</td> <td>23,656</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>176</td> <td>155</td> <td>△ 21</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>1,233</td> <td>1,228</td> <td>△ 5</td> </tr> <tr> <td> 臨時損失</td> <td>19</td> <td>29</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>3</td> <td>589</td> <td>586</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	収入	24,458	25,857	1,199	営業収益	24,222	25,231	1,009	医業収益	22,212	23,161	949	運営費負担金収益	1,426	1,432	6	資産見返運営費負担金等戻入	584	638	54	営業外収益	226	415	189	運営費負担金収益	38	38	0	その他医業外収益	188	377	189	臨時利益	10	10	0	支出	24,455	25,067	612	営業費用	23,203	23,811	608	医業費用	23,027	23,656	629	一般管理費	176	155	△ 21	営業外費用	1,233	1,228	△ 5	臨時損失	19	29	10	純利益	3	589	586																																																													
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																
収入	24,458	25,857	1,199																																																																																																																																
営業収益	24,222	25,231	1,009																																																																																																																																
医業収益	22,212	23,161	949																																																																																																																																
運営費負担金収益	1,426	1,432	6																																																																																																																																
資産見返運営費負担金等戻入	584	638	54																																																																																																																																
営業外収益	226	415	189																																																																																																																																
運営費負担金収益	38	38	0																																																																																																																																
その他医業外収益	188	377	189																																																																																																																																
臨時利益	10	10	0																																																																																																																																
支出	24,455	25,067	612																																																																																																																																
営業費用	23,203	23,811	608																																																																																																																																
医業費用	23,027	23,656	629																																																																																																																																
一般管理費	176	155	△ 21																																																																																																																																
営業外費用	1,233	1,228	△ 5																																																																																																																																
臨時損失	19	29	10																																																																																																																																
純利益	3	589	586																																																																																																																																
		※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。																																																																																																																																	
		別表3 資金計画 (単位：百万円)																																																																																																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>43,806</td> <td>40,380</td> <td>△ 2,746</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>23,905</td> <td>25,067</td> <td>1,162</td> </tr> <tr> <td> 診療業務による収入</td> <td>22,255</td> <td>23,068</td> <td>813</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,464</td> <td>1,528</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td> 補助金等収入</td> <td>87</td> <td>361</td> <td>274</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による収入</td> <td>99</td> <td>110</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>12,050</td> <td>7,874</td> <td>△ 4,176</td> </tr> <tr> <td> 有価証券の売却による収入</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 定期預金の払出による収入</td> <td>9,400</td> <td>5,200</td> <td>△ 4,200</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>649</td> <td>649</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 奨学金の返還による収入</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による収入</td> <td>1</td> <td>21</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>582</td> <td>573</td> <td>△ 9</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>582</td> <td>573</td> <td>△ 9</td> </tr> <tr> <td>前年度からの繰越金</td> <td>7,069</td> <td>7,346</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>36,513</td> <td>31,645</td> <td>△ 4,868</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>22,484</td> <td>23,396</td> <td>912</td> </tr> <tr> <td> 人件費支出</td> <td>10,668</td> <td>11,344</td> <td>676</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>7,241</td> <td>7,792</td> <td>551</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による支出</td> <td>4,575</td> <td>4,260</td> <td>△ 315</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>12,741</td> <td>6,961</td> <td>△ 5,780</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>1,332</td> <td>736</td> <td>△ 596</td> </tr> <tr> <td> 有価証券の取得による支出</td> <td>2,000</td> <td>2,201</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td> 定期預金の預入による支出</td> <td>9,400</td> <td>4,000</td> <td>△ 5,400</td> </tr> <tr> <td> 奨学金の貸付による支出</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による支出</td> <td>1,288</td> <td>1,288</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 長期借入の返済による支出</td> <td>1,256</td> <td>1,256</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 移行前地方債償還債務等の償還による支出</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>翌年度への繰越金</td> <td>7,093</td> <td>9,216</td> <td>2,123</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)	資金収入	43,806	40,380	△ 2,746	業務活動による収入	23,905	25,067	1,162	診療業務による収入	22,255	23,068	813	運営費負担金による収入	1,464	1,528	64	補助金等収入	87	361	274	その他の業務活動による収入	99	110	11	投資活動による収入	12,050	7,874	△ 4,176	有価証券の売却による収入	2,000	2,000	0	定期預金の払出による収入	9,400	5,200	△ 4,200	運営費負担金による収入	649	649	0	奨学金の返還による収入	0	3	3	その他の投資活動による収入	1	21	20	財務活動による収入	582	573	△ 9	長期借入による収入	582	573	△ 9	前年度からの繰越金	7,069	7,346	277	資金支出	36,513	31,645	△ 4,868	業務活動による支出	22,484	23,396	912	人件費支出	10,668	11,344	676	材料費支出	7,241	7,792	551	その他の業務活動による支出	4,575	4,260	△ 315	投資活動による支出	12,741	6,961	△ 5,780	有形固定資産の取得による支出	1,332	736	△ 596	有価証券の取得による支出	2,000	2,201	201	定期預金の預入による支出	9,400	4,000	△ 5,400	奨学金の貸付による支出	8	8	0	その他の投資活動による支出	1	16	15	財務活動による支出	1,288	1,288	0	長期借入の返済による支出	1,256	1,256	0	移行前地方債償還債務等の償還による支出	32	32	0	翌年度への繰越金	7,093	9,216	2,123					
区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算 - 予算)																																																																																																																																
資金収入	43,806	40,380	△ 2,746																																																																																																																																
業務活動による収入	23,905	25,067	1,162																																																																																																																																
診療業務による収入	22,255	23,068	813																																																																																																																																
運営費負担金による収入	1,464	1,528	64																																																																																																																																
補助金等収入	87	361	274																																																																																																																																
その他の業務活動による収入	99	110	11																																																																																																																																
投資活動による収入	12,050	7,874	△ 4,176																																																																																																																																
有価証券の売却による収入	2,000	2,000	0																																																																																																																																
定期預金の払出による収入	9,400	5,200	△ 4,200																																																																																																																																
運営費負担金による収入	649	649	0																																																																																																																																
奨学金の返還による収入	0	3	3																																																																																																																																
その他の投資活動による収入	1	21	20																																																																																																																																
財務活動による収入	582	573	△ 9																																																																																																																																
長期借入による収入	582	573	△ 9																																																																																																																																
前年度からの繰越金	7,069	7,346	277																																																																																																																																
資金支出	36,513	31,645	△ 4,868																																																																																																																																
業務活動による支出	22,484	23,396	912																																																																																																																																
人件費支出	10,668	11,344	676																																																																																																																																
材料費支出	7,241	7,792	551																																																																																																																																
その他の業務活動による支出	4,575	4,260	△ 315																																																																																																																																
投資活動による支出	12,741	6,961	△ 5,780																																																																																																																																
有形固定資産の取得による支出	1,332	736	△ 596																																																																																																																																
有価証券の取得による支出	2,000	2,201	201																																																																																																																																
定期預金の預入による支出	9,400	4,000	△ 5,400																																																																																																																																
奨学金の貸付による支出	8	8	0																																																																																																																																
その他の投資活動による支出	1	16	15																																																																																																																																
財務活動による支出	1,288	1,288	0																																																																																																																																
長期借入の返済による支出	1,256	1,256	0																																																																																																																																
移行前地方債償還債務等の償還による支出	32	32	0																																																																																																																																
翌年度への繰越金	7,093	9,216	2,123																																																																																																																																
		※項目毎に端数処理をしているため、合計額が一致しない項目がある。																																																																																																																																	

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己 評価
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価	
第5 短期借入金の限度額	第4 短期借入金の限度額					
1 限度額 4,000百万円	1 限度額 4,000百万円	・短期借入金の実績なし	S			S
2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応	2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応					
第6 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画						
なし						—
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画						
なし						—
第8 剰余金の使途	第5 剰余金の使途					
決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実等に充てる。	・決算剰余金については、建設改良積立金に充当し、将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	A			A
第9 料金に関する事項	第6 料金に関する事項					
1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	1 使用料及び手数料 (1)法令等に基づき算定する使用料及び手数料 病院を利用する者からは、使用料及び手数料として次に掲げる額を徴収する。 ア 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)その他の法令等に基づき算定した額 (2)その他の使用料及び手数料 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ア 山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額 イ 前号以外にあっては、理事長が別に定める額 2 使用料及び手数料の減免 理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	・料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額を徴収した。 ・計画に記載の契約等による額とした。 ・該当なし	B			B

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評定		前年度計画 法人における自己評価																																																	
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評定	評定	評価		前年度計画の類似項目の評定																																																
第10 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項																																																						
1 医療機器・施設整備に関する事項	1 医療機器・施設整備に関する事項																																																						
① 医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等、総合的に判断して整備する。施設整備については、これらに加え、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。	① 医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分担、医療技術の進展等、総合的に判断して整備する。 ② 施設整備については、老朽化の状況や緊急度、災害に対する耐性等を踏まえつつ、中長期的な視点のもと施設の長寿命化に向けた検討を行いながら、計画的に実施する。また日本海八幡クリニック等診療所については、酒田市と協議を行いながら医療機器・施設整備を図る。	・医療機器については、費用対効果、地域の医療需要、他機関との機能分化、医療技術の進展等を総合的に判断し、医療用レーザー、電動ベッドの更新や、手術器具等を整備し、適切な医療の確保に努めた。 ・施設整備については、中長期計画等に従い、緊急度が高い設備の修繕工事を行った。 【実績】修繕工事(日本海総合病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>契約額(円)</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無停電電源装置更新工事</td> <td>12,870,000</td> <td>既存棟(エネルギー棟)に設置の無停電電源装置の蓄電池を更新した。</td> </tr> <tr> <td>空調機ユニット更新工事</td> <td>50,600,000</td> <td>耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機3基を更新した。</td> </tr> </tbody> </table> ・日本海八幡クリニック等診療所の医療機器の更新・導入については、酒田市と協議を行いながら各診療所において地域の医療需要に応じた装置を更新・導入した。(八幡:遠心方式血液分析装置、ラップトップ型血液分析装置、松山:遠心方式血液分析装置、飛島:遠心方式血液分析装置、自動血球計数測定装置)	工事名	契約額(円)	概要	無停電電源装置更新工事	12,870,000	既存棟(エネルギー棟)に設置の無停電電源装置の蓄電池を更新した。	空調機ユニット更新工事	50,600,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機3基を更新した。	A			A	A																																							
工事名	契約額(円)	概要																																																					
無停電電源装置更新工事	12,870,000	既存棟(エネルギー棟)に設置の無停電電源装置の蓄電池を更新した。																																																					
空調機ユニット更新工事	50,600,000	耐用年数の超過と塩害により劣化している空調機3基を更新した。																																																					
	③ 地域の医療ニーズに対応するよう、今後の診療提供体制等の検討及び整備等を図る。	・地域の医療ニーズに対応するため、新型コロナウイルス感染症における重点医療機関として、5類への移行後も県調整本部の要請に基づき、段階的に病床確保を実施した。また、市町村の依頼を受け、新型コロナウイルスワクチン個別接種を実施した。 【実績】新型コロナウイルスワクチン個別接種実施数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>4回目</th> <th>5回目</th> <th>6回目</th> <th>7回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>5名</td> <td>3名</td> <td>11名</td> <td>47名</td> <td>257名</td> <td>312名</td> <td>127名</td> </tr> <tr> <td>日本海酒田リハビリテーション病院</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>日本海八幡クリニック</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5名</td> <td>21名</td> <td>124名</td> <td>950名</td> <td>695名</td> </tr> <tr> <td>松山診療所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8名</td> <td>96名</td> <td>246名</td> <td>152名</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>飛島診療所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>72名</td> <td>62名</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	日本海総合病院	5名	3名	11名	47名	257名	312名	127名	日本海酒田リハビリテーション病院	-	-	-	-	-	-	-	日本海八幡クリニック	-	-	5名	21名	124名	950名	695名	松山診療所	-	-	8名	96名	246名	152名	-	飛島診療所	-	-	-	-	72名	62名	-					
区分	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目																																																
日本海総合病院	5名	3名	11名	47名	257名	312名	127名																																																
日本海酒田リハビリテーション病院	-	-	-	-	-	-	-																																																
日本海八幡クリニック	-	-	5名	21名	124名	950名	695名																																																
松山診療所	-	-	8名	96名	246名	152名	-																																																
飛島診療所	-	-	-	-	72名	62名	-																																																
② 高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行う。中期計画期間に係る医療機器・施設整備に関する計画は、別表4のとおりとする。		・高額な医療機器・施設整備の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な整備計画に従い、計画どおりの更新・整備が実施できた。 【医療機器・施設設備の計画】 (単位:百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実績</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設改良費</td> <td>1,005</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>145</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>860</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	実績	財源	資本支出			建設改良費	1,005	設立団体からの長期借入金等	施設整備	145		医療機器等	860																																							
区分	実績	財源																																																					
資本支出																																																							
建設改良費	1,005	設立団体からの長期借入金等																																																					
施設整備	145																																																						
医療機器等	860																																																						
2 法人が負担する債務の償還に関する事項																																																							
3 積立金の使途	2 積立金の使途																																																						
前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実に充てる。	前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実に充てる。	・前中期目標期間の繰越積立金については、施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てた。	B				B	B																																															

中期計画(令和2年度～令和5年度)	令和5年度計画	法人における自己評価		設立団体による評価		前年度計画 法人における自己評価																																			
		【計画の実施及び業務運営の状況、自己評価の理由等】	自己評価	評価	前年度計画の類似項目の評価																																				
4 その他法人の業務運営に関する事項	3 その他法人の業務運営に関する事項																																								
① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	① 酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携により、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。	<p>・酒田市・公益財団法人やまがた健康推進機構および診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診実施体制の充実を図った。</p> <p>・酒田市が実施している「内視鏡ドック」のうち、胸部CT、上部内視鏡検査、下部内視鏡検査を受託し実施した。酒田市の内視鏡ドックと併せ、PET/CT検査の受診促進のため、市民に周知した。</p> <p>【実績】検診等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ドック</td> <td>80件</td> <td>78件</td> <td>93件</td> <td>84件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT検診</td> <td>53件</td> <td>46件</td> <td>59件</td> <td>44件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】酒田市ふるさと納税ドック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1泊2日(ドック)</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>2泊3日(ドック、PET)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT(半日)</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	内視鏡ドック	80件	78件	93件	84件	PET/CT検診	53件	46件	59件	44件	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	1泊2日(ドック)	0件	1件	0件	0件	2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件	0件	PET/CT(半日)	0件	0件	2件	0件	B		B	B
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																					
内視鏡ドック	80件	78件	93件	84件																																					
PET/CT検診	53件	46件	59件	44件																																					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																					
1泊2日(ドック)	0件	1件	0件	0件																																					
2泊3日(ドック、PET)	0件	0件	0件	0件																																					
PET/CT(半日)	0件	0件	2件	0件																																					
② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受入れを行い、また、事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受入れ及び保育園等からの送迎サービスを行う。	<p>・病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」により三川町、庄内町及び遊佐町に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整え、日曜日、祝日、年末年始休業(12/29～1/3)を除き、通年で事業を継続して実施した。また、定員9名とし当日予約の受入れや事前に医療機関の診察を受けていない利用者の受診付添いサービス及び保育園等からの病児送迎サービスを実施した。</p> <p>【実績】病児・病後児保育事業延べ利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>292名</td> <td>542名</td> <td>396名</td> <td>616名</td> </tr> <tr> <td>うち職員利用者数</td> <td>153名</td> <td>235名</td> <td>167名</td> <td>228名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】受診付添いサービス等利用者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診付添いサービス</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>0名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>病児送迎サービス</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度からサービス開始</p>	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	利用者数	292名	542名	396名	616名	うち職員利用者数	153名	235名	167名	228名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	受診付添いサービス	3名	3名	0名	5名	病児送迎サービス	1名	1名	1名	0名	B		B	B					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																					
利用者数	292名	542名	396名	616名																																					
うち職員利用者数	153名	235名	167名	228名																																					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																					
受診付添いサービス	3名	3名	0名	5名																																					
病児送迎サービス	1名	1名	1名	0名																																					
		S: 計画を大幅に上回っている(目標数値110%超)	7	0		7	6																																		
		A: 計画を上回っている(目標数値100%超110%以下)	21	0		18	18																																		
		B: 計画に概ね合致している(目標数値90%超100%以下)	14	0		17	18																																		
		C: 計画をやや下回っている(目標数値60%超90%以下)	0	0		0	0																																		
		D: 計画を下回っており、大幅な改善が必要(目標数値60%以下)	0	0		0	0																																		
		計	42	0		42	42																																		